

資料 10

文京区保育ビジョン策定検討委員会報告 中間のまとめに対する区民意見

目次

1. 区民意見の募集について..... 373
2. 中間のまとめに対する質問・意見・要望..... 374
3. 事務局に対する質問及び質問に対する事務局回答 <区民説明会>..... 407

1. 区民意見の募集について

(1) 区民意見募集の概要

1 意見受付期間	平成 18 年 12 月 25 日～平成 19 年 2 月 28 日
2 意見募集方法	①「中間のまとめ」区民説明会(4 回開催)における意見聴取 ②区報ぶんきょう「保育ビジョン中間のまとめ特集号」添付のハガキ ③電子メール ④「中間のまとめ」区民説明会で配布した意見シート ⑤その他(保育課あてファックス・封書等)
3 意見件数	①区民説明会 24 件 ②区報ぶんきょう添付ハガキ 64 件 ③電子メール 70 件 ④意見シート 9 件 ⑤その他 13 件 合計 180 件

(2) 区民説明会開催状況

日 程	開催時間	会 場	出席者数
平成 19 年 1 月 14 日(日)	10:05～11:50	シビックセンター4 階 シルバーホール	19 名
平成 19 年 1 月 15 日(月)	10:05～11:10	シビックセンター21 階 2103 会議室	10 名
平成 19 年 1 月 15 日(月)	19:05～20:20	シビックホール地下 1 階 多目的室	14 名
平成 19 年 1 月 16 日(火)	19:15～20:25	汐見交流館 2 階会議室 A・B	10 名

2. 中間のまとめに対する質問・意見・要望

■ 全体について

No.	質問・意見・要望	受付方法
1	目標としていろいろな項目がアイデアを並べたレベルで並んでいるが、切りわけがまったく不十分である。「こういうものをめざします」と遠くに目標を置くWhatと、「今、こういうアクションをしましょう」「こういう課題を共有しましょう」あるいは「Whatに向かってどうアプローチしていくか」というHowが入り混じっている。遠くに向いているものと、今いる地点からどっちに向くか、という話がごちゃ混ぜで、全体の論理構造がわからない文章になっていると感じる。	説明会
2	目標設定の前提となる事実関係の確認が、どういう前提でそういう話をしているのか、ファクト（事実）があるのかわからないところが散見された。例えば、2頁の背景、就労支援の充実の必要性の中で、「延長保育のスポット利用」「認証保育所の増設」「病後児保育」があげられているが、私の認識では、認証保育所の増設を望む人が本当に多いのか、非常に疑問。認可保育所、公営の保育所の増設と切り分けて認証保育所があがっているのは間違っているのでは。バックデータがあるのなら教えてほしい。	説明会
3	全体的に、子育てに対する見方が暗い。子育ては大変、大変とうたっていて、将来像も大変だから手を打たなくちゃ、というようなところが多い。子育てのポジティブサイド、本来豊かで喜びがあって・・・というところを整理して、ところがそれに対する阻害要因、欠けているところがあるから、そこを補うべく支援する必要がある、というストーリーにしないと、ビジョン全体の構成が暗くなってしまう。ビジョン1の方には基本目標に、ポジティブサイドがかなり書かれているが、この基本目標の内容は目標なのかが疑問で、文章の論理構造がおかしいと思う。	説明会
4	細かい施策に関して、ビジョンに載せてよいものかどうか、疑問がある。細かい施策を実行すればビジョンの指針にのっとって施策を進めた、という安易なとらえ方ができてしまう、という危惧がある。	説明会
5	「子どもを最優先するまち」であれば、まず健康、自動車の排気ガス大幅減（ぜん息の子どもが減る）、高層ビル建設中止（ビル風による歩行危険排除）、路上禁煙完全実施（千代田区のように罰金設定）、歩道自転車乗入制限及び車道減による自転車道確保などやってもらいたいことが山ほどあるが、全く反映させようという意欲のない厚生省系の「たてわりビジョン」であるということが一目瞭然である。 大型施設や国や都の関連機関も不要だし、防災拠点として小中学校、大学、公園があり、文化伝承するには保育園では年齢が低すぎる。保育園後に民間保育に預けたり、ベビーシッターを雇ったり、子育てサービスがもっとあれば・・・という家族はいるはず。区内の子育て世代のニーズを把握後にビジョンを作成して下さい。一部公機関の生き残りのためのビジョンというのが露骨すぎです。 幼稚園との関係は棚上げし、「長期ビジョン」としては全くなっていない。	はがき
6	理念としては良いと思うが、具体像が見えない。「ビジョン」の策定に際しては、実際の施策を明示して、区民にとって納得のいくものかどうか、明らかにした上で進めてほしい。	はがき
7	あらためて当たり前のことをビジョンとしたというのが率直に感じた事です。これをどう実行、実現していくかが一番大変で、大切だと思うので、区民の声を聞きながら実現してほしいです。あの5千円の券みたいに、たいして満足感のないお金の使い方はしないでほしいものです。	はがき
8	理念はわかりますが、結局、何がどうなるのかが見えてきません。保育園もどうしたいのですか？夏休みに働いている親の幼稚園児を受け入れるとか？！（考えるだけでも恐ろしい！）まだ中間ですので仕方ないのかもしれませんが、良いものを作っていただきたいです。	はがき
9	「支援・応援」等の言語が多数出ていますが、具体策はあるのか。要するに予算・マンパワーはどうやって作り出すのか？ 最終まとめでは、具体策の提示、予算編成、目標期限等について明記を！絵に描いたモチに終わらないよう望みます。	はがき

No.	質問・意見・要望	受付方法
10	<p>項目がもりだくさんだが、何をどうしたいのか、具体的に記述されていない。ビジョンとは、その程度のものなのかと、がっかりさせられる。区が実行するためには「金」が必要。どうやって、予算をとるのか。区の中で行われているムダな支出をへらして、こういう有意義な事業がキチンと実行できるようにしてもらいたい。</p> <p>文中の「ワンストップ・サービス」とは何のことか？</p> <p>区長は、このビジョンをどこまで実行するつもりなのか？</p> <p>これを作らせて、区民を安心させておいて、裏では、保育園民営化をすすめているのではないかと思うと腹が立つ。</p>	はがき
11	<p>先日の区民説明会に参加し、「中間のまとめ」の冊子を読みましたが、今後いったいどのように具体的検討がなされ実施されるのか見えてこないのが第一印象。あと、二回の委員会のみで終了としてしまっただけの話しになってしまうのではないかと思う。この三月で終了にはせず、具体化を目指し、検討委員会を継続はしないのでしょうか？</p> <p>また、就学前の子どもたち全てを対象としておきながら、幼稚園について検討されないのは、なぜでしょうか？「保育」という観点から保育園を対象にしたとしても、現在の施設では手狭で、一時保育等を求められても物理的に難しい園もあるのではないかと？幼稚園や他にも区の空き施設を利用するなど、対象を広げるべきでは？</p>	その他
12	<p>とにかく予算がないと“なにも”できないと思います。理想だけでは“なにも”動きません。本気で“子育て”をどうにかするならば、十分な予算を立て、質の良い人材がこの問題に対応できる体制を構築すべきです。</p>	はがき
13	<p>今回の保育ビジョンについてですが、非常に抽象的な内容であり、もう少し具体化して各論に落ちないと、評価を下しづらと思います。一方で、「総論のみ区民を交えて議論、各論は区の内部で決定」といった状況にせず、各論をも区民を交えて決定していくという意思表明を保育ビジョン自身に入れていただきたいと思っています。(区民参画による検討、ではなく、区民参画による決定、です)</p>	メール
14	<p>①何を作りたいのか良く分からない。完成イメージが湧かない。作っている側にもそれが無いのは大きな問題。</p> <p>②資料を見ると、保育＝保育園だという印象がある。ビジョンなのだから縦割り行政にとらわれず検討に児童館や幼稚園を使う子どもやその施設もきちんと入れて欲しい。</p> <p>③3月までにまとまるとは思えない。日程ありきの進め方は非常に遺憾。区民にもっと興味を持たせ、腰を据えて取り組んで欲しい。例えば幼稚園、保育園、児童館に説明をして歩き、もっと現場や区民の意見も聞いて、地に足のついた、かつ希望のもてるビジョンを作って欲しい。</p> <p>④委員の方々にはとても尽力頂いていると思うが、進め方、完成イメージについては妥協しないで取り組んで欲しい。</p>	メール
15	<p>今回の中間のまとめは、レポートとしての完成度が低いことが大いに不満である。</p> <p>a) 例えば形式的な点だが、会長の名前が記載されていないことからおかしい。また、区報の要約版には、会長名を「委員長」と書いているが、設置要綱には、会長と規定している。</p> <p>b) いたるところに散見される悪文。例えば、「はじめに」の第4段落、「ビジョンにおいては、...まとめています。」の文の意味がわからない。「その具体的な方策」とは、何を指すのか。(p.3) また、「第II 文京保育ビジョンにおける保育とは」。先の文と類似した文で、意味がわかりません。(p.4) 「保育とは」というタイトルからすれば、保育を定義するはずだが、文章は「保育ビジョンとします」と書いてあるので、保育ビジョンを定義しているようでもあります。(また実際には定義されているとは、思えない。)</p> <p>c) 「はじめに」の第2段落 (p.3) や、「第IV 文京区の保育がめざす将来像」では、「まちのありよう」を描く、示す、としているので、ビジョンは、「まちのありよう」なのでしょうか？保育ビジョンとまちのありようとの関係がよくわかりません。</p>	メール

No.	質問・意見・要望	受付方法
15	<p>d)12 ページ vision2 目標1.「文京区には、さまざまな親子がいます。」と書いて、①から⑦までの類型が書いてあるが、大半の家庭が属する類型が抜けているので、おさまりの悪い文章になっている。表現力の問題だと思います。</p> <p>e)13 ページ vision2 目標3.「既に地域で支援に関わっている人々との間での連携を強めるとともに、」。主語がないので、誰が連携するのかわかりません。</p> <p>f)vision1 将来像「そのためには、その力を生かす」とは、どの力のことでしょうか。「そのため」もどこを指すのか、わかりにくい。</p> <p>g)vision1 の目標 (4)「子どもの自発的で内発的な「知」への欲求を大切にし、それを支える環境を整えていく。」具体的にどういう環境を整えると、「それを支える」ことになるのか、もっと丁寧に説明してもらわないとコメントできない。</p> <p>h)vision2 目標4「児童館機能の充実 新たなニーズに対応する」新たなニーズとは何のことか。どういう理由で、どういうニーズへの対応が必要という結論を導き出したのか、わかりません。</p> <p>i)10ページ「子育てにやさしいエレベーター」いくら読んでも、意味がわからない。PDF版後半のWGのレポートを読んで、やっと意味がわかった。でも、説明会等で配布の冊子体だけを入手した人には、意味がわからないままである。</p> <p>以上、例示したように、この中間のまとめは何を伝えようとしているのかもよくわからない、難解な文章が多く、説明不足でお粗末な文書である。この完成度でコメントを求めよう、ということ自体に、そもそもの無理があります。区民感情としてはこういうものでコメントを求めるのは失礼ですし、経済的に見れば税金を有効に使っているとは言いがたい。誤解に基づくコメントも多く生じることと思う。</p>	メール
16	<p>裏づけが不明</p> <p>a) 本文 2 ページ 第I 保育ビジョン作成の背景 (3) には、「認証保育所の増設」(中略)などの充実を望む人が増えています。との記載がありますが、これまで、父母連でのアンケートなどを通して得られている認識とは、大幅に異なるものです。認可保育園ではなく認証保育所の増設が望まれているという記載の裏づけを示していただきたい。</p> <p>b) 本文 2 ページ 第I 保育ビジョン作成の背景 (2) も、見出しには「子育てを負担に感じる人の増加」とありますが、そのあとの本文では、1回のアンケート結果で、「不安や悩みを持つ人が多いことがわかりました。」とあります。しかし、どのようなアンケートの設問で得られた結果なのか、また多いとは、どの程度の比率なのか。この結果を何と比較して見出しの「増加」としたのか、具体的な裏づけが不明である。</p> <p>c) vision1 の目標 (3)「電子メディアの過度の視聴・利用の危険から子どもたちを遠ざける」長時間にわたる電子メディア(テレビ・ビデオ・DVD・テレビゲーム・携帯用ゲーム・インターネット等)の視聴・利用は、生活リズムの乱れ(夜更かし)や運動不足の原因となり、ゆたかな人間的ふれあいを阻み、その結果として言葉の発達の遅れをもたらすともいわれる。」何が長時間なのか、過度なのかというガイドラインも、データソースも示すことなく(「いわれる」)、ただただ親の不安をあおっているだけの文書ではないか?これでは検証不能であり、「目標」にできないのではないか?</p> <p>d)vision2 目標 5「良質で安価な治療のあっせん」今の保険治療の制度下で、「良質で安価な治療」とそうではないものがある、と言っているように読めてしまいます。良質ではない医療も提供されている、という事実があるのでしょうか?また、「乳腺炎など」の「など」の中身として、3つ以上の保険のきかない疾病を具体的に提示できるか?</p> <p>e)vision4 目標 4 (2)「クラスサイズは国際的に常識はずれなくらい、大きい」「海外では、1クラスの園児数を少人数にすれば、」検証できる形での記載を。また、海外がどうであれ、自分たちで議論して、よいものはよい、ということでビジョンを作るのが筋ではないか。</p>	メール

No.	質問・意見・要望	受付方法
17	<p>基本となる子育て観のトーンが暗すぎる。 例えば vision2 の将来像が、「不安」の話から入っている。vision3 でも、将来像に「再び社会に参加できる道を開く」という記載があります。裏をかえすと、就労しないで育児をしていると、「社会に参加していない」と規定しているわけです。これは、あまりに暗い子育て観ではないか、と思います。あるいは、「はじめに」の第1段落も、語りだしこそ明るいですが、その明るさを具体化しないまま、直ちに厳しい現実突き落とされてしまいます。また、vision3 の将来像も、「～生き方を選択し、～能力を発揮することは、子どもを持っては望めないことなのではないでしょうか」とある。生き方の選択や能力の発揮にたいして、子どもが妨げになることが、所与の前提であるような内容であり、このように暗い前提で将来像を描いてほしくない。</p> <p>まずは、子育ての中でどこに喜びがあるのか、何が幸せなのか、どういう子育てが望ましい子育てなのか、理想像や黄金の瞬間のようなものについて語る必要があるのではないのでしょうか。そしてそれに対して、現実の生活の中では阻害要因もあるので、そこに必要な支援によって解決していこう、というふうに話を組み立ててはいかがでしょうか。</p> <p>現状のまとめでは将来像について、ネガティブサイドでしか語っていないので、基本の軸があいまいなままである。そのために中間のまとめ全体が、大変なことは全て支援してほしいという子育て世代のわがままな要求の羅列と受け止められかねない。また、その支援がどうして必要なのか、ということの説得力が弱いものとなっている。</p>	メール
18	<p>提案の整理が不足 各ビジョンの目標という項目の下にアイデアがたくさん並んでいるが、遠くにかかげた目標とするべきことと、直近の取りくみとの仕分けが不十分ではないか。あるいは、何をするかという what とどういう方法でするかという how との整理が不十分ではないか。さらには、そのアイデアは実施可能なのか、効果を検証可能かという視点での議論をするべきではないか。</p>	メール
19	<p>ビジョン 2007 への継続 説明会においても、これはビジョン 2006 として策定、という経緯が紹介されたので、最終報告ではきちんと、ビジョン 2007 への継続を明記されたい。</p>	メール
20	<p>今回の検討項目の名称を「ビジョン策定」と置いたことについて 実は「ビジョン」という名称は、ある目標を共通に理解して作業を進める上では、あまりよい言葉ではないのではないかと、思っている。仕事の上で議論をしても、ビジョンが何を指すのか、人によって指すものが千差万別だなあ、と思うことがたびたびある。「ビジョン」と「ミッション」とどちらが上位の先に来る概念か？と聞いても、見解はばらばらなので。</p> <p>マスコミにおけるビジョンとミッションの混同の例： http://techon.nikkeibp.co.jp/guide/nano_sample.html http://techon.nikkeibp.co.jp/article/COLUMN/20061218/125560/?P=2 現在想定しているビジョン 2007 においては、まず「ビジョン」という言葉をどういう言葉に言い換えるとクリアな議論ができるのか、検討することからはじめるべきであろう。</p>	メール
21	<p>斜に構えて読まざるを得ない。下に理由を示します。 1. 保育に関して興味を持つ区民が一番知りたいことは「保育園の民営化」について。今回の内容では現在ある園の民営化は無い？と取れますが、さんざん話し合いを重ねた民営化についての結果をこんなわかりにくい形で報告するのか？「保育ビジョンは民営化が最終目標ではないので」という回答が予想されるが話し合いに時間を費やした区民に対して失礼極まりない。常識から外れている。</p>	メール

No.	質問・意見・要望	受付方法
21	<p>2. すばらしい構想は理解できた。では具体的にどこに何を造るのか、そのプロセスはどんなものなのか、民営化の際に区の財政難を理由に挙げた文京区であるが、この素晴らしい構想のために一体何ができるのか。具体案が挙がるまでは意見が出しづらい。</p> <p>最後に。私は文京区を愛しています。文京が将来良い方向に向かってゆける明確なビジョンがあるならば、たとえ少しの痛みを味わおうとも区と協力して前進させて行きたい。保育や環境の転換期で我が子が負ってしまうであろうマイナス影響も、親である私が100%サポートしていこうという決意を持っています。検討委員会の方、区役所の方にはそんな決意が感じられない。良いものを創り上げる自信が本当にあるのだろうか？区民が「なんとなく」反対ムードをとるのはそんな頼りの無さからである。（保育園民営化・小中学校の合併どちらにも共通する意見です）</p>	メール
22	<p>区報ぶんきょうを拝見しましたが、かなり細かな内容となっており、ビジョンというものはこのような具体的な内容となるものでしょうか。</p> <p>特に、路上禁煙の実行など、この中でうたうような内容とは思えませんし、仮にうたっても効果のほどは疑問です。このような問題は別の場所で議論したり考えるべき問題ではないでしょうか。</p>	メール
23	<p>全体的にいえることだが、具体的なことが記載されていなく、イメージがわからない。つまり、何が言いたいのがわからない。</p>	メール
24	<p>保育ビジョンの中間のまとめを拝見しました。少子化の時代、子育てに力を入れるべきということは理解できますが、このビジョンが文京区のさまざまな施策と整合性をもった「ビジョン」とすると、子育てをしている人だけ（特に保育園を利用している人たち）のためだけのビジョンのように感じます。たとえば「子どもを最優先するまち」とありますが、高齢者や障害者はどうなのでしょう。そもそも、行政で誰が「最優先」ということはあるのでしょうか？たとえば公園や大型施設の整備など、子どものためだけにお金を惜しみなく使ってしまうのでしょうか？また、行政に「やってもらう」あるいは「やらせる」、地域のひとに「みてもらう」「やってもらう」という部分が多く、子育てしている人同士の協働という視点が弱いのではないかと感じます。細かく具体的な要望ばかりが目立つのが気になります。子育てをしていない人にも「なるほど」と共感できるビジョンにまとめてください。</p>	メール
25	<p>子供が二人いる親ですが、報告書をざっと読みました。色々なことが書いてありますが、やることを羅列している感じです。基本指針と書いてある割には、長期的な視点を感じません。もっと大きい観点から考えをまとめるのが、ビジョンというものだと思いますが？</p>	メール
26	<p>子供が小学校の高学年になり、やっとゆとりがでて来ました。二人とも働いているので、たいへんでしたが、子育てということで充実していました。今回のまとめを読むと、たいへんだから、助けるということばかりです。検討委員会というのはそういうことばかりを話しているのでしょうか。もっと子育てが喜びだということをはっきりさせる、親はもちろん周りの人にとっても子供の声がするということが楽しい、ということを出しては、どうでしょうか。子育ての楽しさを、親や住民が共有する。その前提で、一人一人が努力をしていく。役所がやるのがメインというビジョンには賛成できません。</p>	メール
27	<p>名称が「保育」ビジョンとうたっているのが変ではないか。保育園についてのビジョンととらえてしまう。「未就学前の子ども」を対象としているのだから、「子供ビジョン」「子育てビジョン」とうたうべきではないのか。「子供」とすると範囲が広範になるというのであれば、副題で未就学児対象とでも入れればよい。</p>	メール

No.	質問・意見・要望	受付方法
27	<p>そもそも「就学前のすべての子供」を対象としていると言っているにもかかわらず、実際の対策は、保育園児、未就園児（0 から 2 歳の家庭で保育されている子供）に対してしか示されておらず、幼稚園児はこのビジョンの中から省かれていると思う。特に vision4 は保育園のことだけに触れており、なぜ幼稚園については触れないのか。これでは幼稚園保護者の反発を招くのではないか。「保育園が子育て家庭に開かれた保育拠点となる」とあるがどうやって幼稚園に通わせている家庭を取り込むのか。完全に矛盾している。幼稚園児の親が保育園に育児相談に行くのか。ビジョンの中で保育園の役割が書かれているのと同様に「幼稚園の役割」をしっかりと位置づけなければ幼稚園児に対する政策が抜け落ちてしまうと思う。そうでなければビジョンの目的は達成されないのではないか。保育園に通う子供たちに対してだけ子育て政策を行っても十分に機能するとは言えないと思う。幼稚園は教育機関だから保育の点から論ずるのは意味がないと考えているのか。健全な発達の保証がなされなくて良いと考えているのか。それともすでに保証がされているから必要がないと考えているのか。教育機関である幼稚園、福祉施設である保育園という枠組みを乗り越えて保育（こども）ビジョンが語られなければ実効性がないものになってしまう。別々の施設であっても統一した目的で政策がなされているなら効果は上がると思うがこれでは意味がない。子どもの数が減っている今、わざわざ別の部署で、別々の予算をつけて子どもに対する政策を別々に行うのは本当に非効率的であり、将来的には保育園幼稚園が融合していくことを望んでいる。</p>	メール
28	<p>保育ビジョンで取り上げる項目があまりにも広範にわたっているため、どこから手をつけるのか分かりづらい。すべてを実現するのは難しいだろうから優先順位はあるのだろうが、予算の都合上すべては実現できないので、とりあえず、皆さんの要望が多かった「認証保育所」を作ってみました、入所人数を増やすために民営保育所を増やしてみました、なんてことには絶対にしないで欲しい。うがった見方をすれば、そうするために手順を踏んでビジョンを作っているだけなのかと疑いたくなる。</p> <p>保育ビジョンがうたうもの、その方向性にはとても共感し、子供に優しいまちづくりを望んでいる 1 人として委員の皆さんが相当な力を注いで作られたものがより良いものになるようがんばっていただきたい。</p>	メール
29	<p>書いてあることをやるためのお金をどこから持ってくるのか。子供最優先とは、子供にしかお金を使わないことか。民営化とかやることはやっているのか。バランスがとれていない。</p>	メール
30	<p>時々5階の会議室を利用しています。</p> <p>昨年、文京を作る区民検討会（名称に自信はありません。24階の部屋だったと思います）を傍聴しました。ゆっくりながら行財政改革が進んでいるとの感想を持ちました（不十分という人もいましたが）。しかし、この報告書を見て驚きました。官が金と人をかけてやることのオンパレードです。このような内容がでることが改革を遅らせているのでしょうか。大型施設整備だの、公設公営保育園維持だのは時代錯誤です。特定分野の専門家をまとめ役として利害関係者を中心とした検討会で議論したということですが、その結果、「就学前の子供にかかわる基本理念」のまとめでなく、「保育園の親がやって欲しいこと」のまとめになっています。このようなやり方で、各分野の人が要求を出していけば、我々文京区民はどれだけ税金を取られるのでしょうか。指針というなら、保育の分野でも官の仕事を質を高める民（公益団体、企業、NPOなど）に渡すということを明記すべきです。ビジョンというのは要求の羅列でなく、多くの人を受け入れられる考え方をまとめたものです。今回の内容は参考資料程度のものでしょうか。また、最初に書いた区民検討会との合同会合などの、すり合わせもしてください。保育園にかかわりのない親、子供を持たない住民など、いろいろな人が受け入れられるものを望みます。</p>	メール

No.	質問・意見・要望	受付方法
31	この保育ビジョンは文京区として策定するのですか。もしそうであるならば、文京区はいつから子どもを最優先するまちになったのですか。少子化が叫ばれている昨今、子育ての大切さは分からないではありませんが、偏りすぎていると感じます。また、保育ビジョンとは就学前の子どもに係る分野の基本理念・基本目標を示すと書いてありますが、内容は具体的な施策であり、ビジョンとは程遠いように思うのは私だけでしょうか。	メール
32	ビジョンに対する優先順位がなく、まるっきり空想の話にしかみえない。本当に実現できる項目、するものがあるのかが、ドキュメントからみえなかった。	意見シート
33	人間は「義務」と「権利」があると思います。人間生まれてきた以上、子孫を残すことは「義務」、よって大変かもしれないがやるべきこと、また、それをいきがいにすることだと思います。それに対して、公としてよりよくするための手助けが「権利」だと考えます。その明るい権利がわかるようにしてもらいたい。	意見シート
34	様々なアイデアが並べられていて、全部実現できたら面白いだろうと思うが、そのへんの実現可能性をどう考えているのかが疑問。この先 vision を実現していく道すじもある程度示していただけないと、このままおわるのではないかと不安が残る。	意見シート
35	“基本的な考え方”に疑問を感じます。区長はどのように考えられているのでしょうか。ビジョンができた後、それに基づいて区政が行われるのか、誰が計画するのか、誰がチェックするのが不明です。行政中での位置づけを明確にしてください。	意見シート
36	保育園関係者による、保育園利用者のためのまとめになっている。子どものいない独身の納税者にも税金を還元してもらいたい。	はがき
37	今回の中間のまとめは、保育園関係者の既得権を守るためにつくったのではないか。お金のかかる要求ばかり並べ立てており、福祉予算を全部自分たちの思いどおりに使いたいというわがままな気持ちでつらぬかれている。高齢者は寿会館の風呂をなくされても、区がお金がないのがまんしている。医療費がかかるのは子どもより高齢者の方なのだから、あまりわがままばかり言わないで皆でゆずり合っていく気持ちをもってほしい。	はがき
38	保育園の父兄は、払っている税金以上の恩恵を受けているのに、まだお金をよこせというのか。こんな一部の人たちだけで税金を使うのは反対。いい加減にしろ。	はがき
39	保育園の民間委託は新行革の区民会議で決まったはずなのに、保育ビジョンの中で議論するのは筋違いな話だと思う。見直すのであれば新行革の区民会議に議題としてあげてから行うべきである。保育ビジョンの検討会は、その役割を超えている。高層建築の規制は都市計画の会議だと思うし、禁煙の問題は安全安心条例で歩きタバコの禁止区域を設けてやったと新聞にのっていた。何でもかんでも保育ビジョンの検討会で決めるのはおかしい。ビジョンなら将来像をまとめるだけでよい。	はがき
40	保育ビジョンは区の保育行政のあり方を示すはずなのに、個別の要望や具体的な方法まで決めてしまっている。これではビジョンではなく、要求や苦情の一覧表であり、区民共通のビジョンとはいえない。もっと大局的・長期的な立場からまとめないと、一般の区民はついていけない。要求した者勝ちになってしまう。ちゃんとした形で作り直してほしい。	はがき
41	①「子どもを最優先するまち」を達成するためのあり様を、“保育園”“福祉”の側からだけ検討され、答申されるのはおかしい。	はがき

No.	質問・意見・要望	受付方法
41	<p>②保育ビジョン策定委員が主に保育園の立場の人で構成されている。文京区には幼稚園や幼稚園に在園する幼児が保育園以上にいます。“保育機能の中核”が“保育園”とはいえません。文京区の子どもの保育のあり様を語る時、幼稚園のメンバーをはずしては考えられません。幼稚園と保育園が共に意見を出し合っこそ、“文京の子どものあり様”が真に検討できると思います。委員の中に幼稚園教諭や幼稚園の保護者、PTAも是非加えてほしい。</p> <p>③答申内容がハードにかたよっている。子どもを優先するまちづくりをめざすのであれば、何よりもまず、“どんな子どもを育てるのか”という求める幼児像についてもっと検討を深め、明らかに明示してほしい。その上で、それを達成するために何が必要かを考えるべき。</p>	はがき
42	<ul style="list-style-type: none"> ・実効性の伴わない単なる夢の羅列のビジョンでは意味がないと思います。ぜひとも実現に向けた道を模索してください。それには、現状の把握と、的確なニーズ分析、人口動態の認識が不可欠になると思います。 ・働く親たちは「認証保育所」の増設を求めています。保育の質の伴わない保育所ばかりが増えても安心して働きません。多少の費用負担が増えたとしても、あくまでも質の伴う保育施設と、何よりも、質が高く、相応に処遇されている経験豊かな保育士さんたちが十分な人数いることが必要だと思います。それには、予算の確保が欠かせません。 ・箱もの行政は必要ありませんが、現状の保育園は、園庭も教室も狭いのが実情です。あいている幼稚園園舎を利用するなど、柔軟な対応を求めます。(なお、就学前児童すべてが対象になるといいながら、幼稚園関係者が今回のビジョン策定に関与していないのは不十分です。) ・今後のビジョンの実現遂行に際しては、ぜひとも保護者を含む一般区民の共同参画の道を確保してください。 	メール
43	<p>子育て環境をより充実させるために、区が先頭に立ち、保育ビジョンを策定することは良い試みであると思います。我が家は共働きのため、これまでに3人の子は、社会福祉法人運営の保育園を利用してきました。公設の園と比較した場合、はじめはサービス面での不安がありましたが、実際には公設園よりも融通が効き、対応も早く、サービス面では恵まれていると思います。育成室の民営化も保護者にとって良くなったという話を耳にしております。よって、今後も、区認可という形で良いので、民間の力も積極的に取り入れて、子どもたちのことを第一に考えたビジョンにして頂けたらと思います。</p>	はがき
44	<p>子育て支援で何ですか？保育園を増やすだけですか。では、学校教育の面はどこへ行ったのでしょうか。学校を統廃合し、保育園を増設する。学校教育の切り捨てとも受け取れます。保育園は乳幼児を預かります。でも幼稚園という幼児教育の機関もあります。保育ビジョンの充実なら、幼稚園も取り入れないと不十分だと思います。まず幼保の一元化があってこそその保育ビジョンではないでしょうか？子どもの立場、これからの人材育成を考えるとこのなら、まず、乳幼児教育機関としての一本化がなされてから言って欲しい。今のままでは子育ては教育機関でなく、福祉機関になってしまう。学校は子育て福祉なのか？！我が子を我が手で育てようと頑張っている世の母親には、幼稚園にも目を向けて欲しい、我が子を我が手で育てられる幼児期だけでも、母親の子育て時間を子ども達に返して欲しい。</p>	はがき
45	<p>何故幼稚園について今回のビジョンで議論されないのか？子どもが育つ公共施設は保育園だけか？</p> <p>今回の保育ビジョンは「就学前の子どものに係る分野の基本理念・基本目標」を示すものとされているが、その中で議論されている保育の拠点が保育園に限定され、幼稚園が対象になっていないのは何故か？夢を語るビジョンを謳うのであれば、行政の縦割りを前提とした議論は不適切と思われる。従来からの「保育園は福祉で幼稚園は教育」という考え方や、今回のビジョン策定検討委員会の事務局が文京区役所のどの課か、などということは「就学前の子どものに係る分野の基本理念・基本目標」という高次元の議論をするのであれば、一旦はおいて議論すべきではないか。</p>	その他

No.	質問・意見・要望	受付方法
45	<p>例えば中間のまとめVision1の3-3の冒頭で示されているような機能は、幼稚園ももっているものはず。Vision4「将来像」でいうところの「保育機能」とは何か定義し、それを担う主体を特定していくことが必要ではないか？また、Vision4の3(3)①で述べられているように、「希望すれば保育園に入園できる体制を目指し、「就労していないと保育園に申し込めない、という悪循環を断つ」のであれば、幼稚園と保育園の差異は尚更無くなってゆくはず。また、現在、文京区の認可保育園の地域的分布には偏りがあり、かつ、人力的・施設的に余裕がない状況と思われる。そうした中で、「すべての子どもたち、あらゆる子育て家庭に開かれた保育拠点（Vision4「将来像」）として、保育園だけにVision4全般で述べられているような様々な機能を担わせることに、どれだけの実現性があるのかは疑問。また、Vision4の1(3)で述べられているように、「地域における子育て支援のネットワークの中核としての役割」を保育園に担わせるのであれば、現在、一部の保育園で実施している子育て相談などについて、現状の総括が必要ではないか？現時点で保育園のこうした機能が子育て家庭・保護者に良く活用されているとは、必ずしもいえないのではないかとすれば、それが活用されていない要因をまず分析しないと、今後の試みも絵に描いた餅に終わってしまうリスクが高いのではないかと？</p>	その他
46	<p>子供を預けて働きつづけるために、文京区に引越してきました。その際、品川区なども考えました。区が子供の育成について分かりやすく宣言していたからです。今回保育ビジョンを作る際は、区が主体となって子供の育成について実行する、ということについての宣言を盛り込んでほしい。子供を育てる環境を探し求める親達、今そこで育てている親達にとって安心感があります。保育園の安易な民営化はほししないと明確に断言してほしいと思います。</p>	はがき
47	<p>保育ビジョン策定検討委員会の趣旨がよくわかりません。</p>	メール
48	<p>なぜ、3月末までにまとめなくてはいけないのでしょうか？</p>	メール
49	<p>まず、今現在の保育、育児環境においての問題点のピックアップがどのように行われたのか、疑問です。「就学前の子ども」とひとくちに言っても、乳児と幼児、親の就労形態、家族構成、経済状況など様々で、種々の立場・経験からの悩みやニーズをどのように感じて「保育ビジョン」というものを策定しようということになったのでしょうか？いろいろと理想や夢を語っても画餅に終わってしまいませんか。私たち区民の日々の生活は止まってはくれません。税金を納めているものとしては具体的な施策につながっている確かなものが欲しいです。また、委員会の事務局は「保育課」で、委員構成も「保育園」関係者が多く、文京区全体として、子どもたちの将来を考えるならば、教育、福祉各方面からの委員構成が必要ではないでしょうか。問題点をピックアップしてから、今後何十年も先につながるビジョンを考えるには、委員会の設置方法、検討期間、区民への広報など、拙速の感がぬぐえません。文京区は、交通の便も良く、寺院や公園などの史跡も多く、病院や教育機関も充実しており、住みやすい環境にあると思いますが、「子育て」においては、施設も行政サービスもまだまだという感があります。</p>	メール
50	<p>委員会のメンバーが圧倒的に保育園関係者が多いですが、文京区の保育ビジョンを策定するのであれば、幼稚園の先生や保護者、入園前の保護者などもメンバーに入っていないとバランスを欠いていると思います。</p>	メール
51	<p>この「中間のまとめ」や「保育ビジョン策定検討委員会」を理想論や形式だけで終わらせないでください。 説明会で「今年度中に報告書をまとめなくてはいけないから～」という事務局からの説明がありましたが、終わり有りきで議論するだけでなく、もっと時間をかけて充実したものができあがることを希望します。</p>	メール

No.	質問・意見・要望	受付方法
52	<p>子どもの育ち、保育園のすばらしさなど、保育ビジョンにかかわることを語り始めると一冊の本にもなりそうなボリュームです。文京区の保育園との出会いが、私たちの家族にそれほどまでも豊かなものをもたらしてくれ、ただただ感謝しています。</p> <p>このようなことをパブコメにはとても収容しきれません。そこでビジョンに欠けていると思われる重要な要素に焦点をあてて意見を述べます。</p> <p>今回の「中間のまとめ」は、現状のままではアイデアやメニューの寄せ集めに過ぎないと多くの方が指摘しています。森の中の水にとらわれすぎて、森全体の様子がまったく見えてこないのです。そもそも、森の現状がどうなっているのかがわからないまま、将来の森の姿を描くことにどれほど意味があるのでしょうか。</p> <p>今、文京区で子育て・保育環境は危機的な状況に直面しています。その現状がどれほど深刻なのかをまず、見極めないことには、ビジョンを策定する意味がないような気がします。人口動態、生活実態、需要調査など、データに裏づけされた現状分析をしないまま、ビジョンの策定がどんどん進んでいくことに強い懸念をもっています。第1回委員会を除き、すべての委員会を傍聴し、ワーキンググループに2回、代理出席しましたが、データに基づいた議論がなされていません。</p> <p>現状分析の過程で、「子育て危機はない」ということが明らかになれば、私たちも安心することでしょう。しかし、公開されたデータを素人の私が分析しても、現実には甘くないことがわかります。そうでなければ豊かな育ちを保障されないまま、子どもたちは成長し、小・中学校でさらなる問題に発展しかねないと心配です。</p> <p>2005年国勢調査一つをとっても、区のお寒い現状が見えてきます。1月末に発表された2次集計の結果は、区内の働く女性を落胆させる内容です。文京区は、全国に比べて「仕事と家庭を両立しにくいまちになってしまった」という状況がはっきりと表れているからです。両立のしやすさの主たる指標の一つに、女性の労働力率があります。労働力率が高いほど、女性の社会進出が活発で、両立が実現できていることになります。</p> <p>女性の労働力率が下がる最大の要因は、子育てによる退職です。文京区の場合、1995年、2000年の国勢調査では全国を上回る女性の労働力率を維持していました。ところが、2005年に全国の女性労働力率が上昇する中、文京区はほぼすべての年齢区分で逆に低下、全国平均（15～64歳）の60%を3ポイント下回る57%に落ち込みました。</p> <p>しかも、文京区の場合、30～34歳の年齢区分は、前回調査に比べて4.2%ポイント低下しています。全国的にはこの年齢層の女性でもっとも顕著な上昇がみられたにもかかわらずです。</p> <p>就労に対する日本の女性の意識もここ10年あまりで急激に変化しています。2006年の労働経済白書によると、「子どもができてみずと職業をつづけたい」と思う女性は1992年、26%でした。それが2004年には42%に達し、初めて「子どもができたなら職業をやめ、大きくなったら再び職業をもつほうがよい（同37%）を上回りました。つまり、女性の8割が子育て中でも仕事をしたいということです。もともと文京区は保育園や保育サービスの絶対量が東京の中では少ない区です。保育園の整備率は東京の平均を下回り、就学前児童の4人に1人しか入園できません。しかも、文京区では98年以来、乳幼児人口がほぼ一本調子で増えています。女性の就労意識の変化と重ねると、認識されている以上に深刻な保育サービス不足に陥っている可能性があります。例えば、こんな試算ができます。上記の統計では、子どもが生まれても働きたい女性が全体の4割を占めています。2006年の乳幼児人口は7416人（1月1日現在）。その4割に相当する約3000人が、保育の潜在需要を示しているともいえます。これに対して保育園の定員は認証、私立、区立とあわせて約1900人強です。幼稚園に子どもが通いながら働くお母さんや父子家庭などを考慮しないで単純計算すると、1100人が潜在的に保育園を利用したい人数です。正式な待機児童数49人（2006年4月）とのギャップがいかにか激しいかわかると思います。これらの数字は何を意味しているのか。専門家ではないので何ともいえませんが、少なくとも保育サービスの整備が遅れて、就労したくともできない女性が、大勢存在していることが統計上、見て読めます。</p> <p>今のペースで保育園の定員を増やしても、待機児童は一向に減らず、むしろ増えていくと推測されます。さらなる調査・分析が必要なのは言うまでもありません。保育需要の地域的な偏在も問題です。保育施設は区の外周に点在する、いわゆるドーナツ型の配置になっているため、地域によって保育園不足はさらに深刻さを増しています。水道や春日地域では、近くの保育園に入れず、遠くまで通わざるを得なかったり、兄弟姉妹を異なる園に預けざるを得ない家庭が急増しています。</p>	その他

No.	質問・意見・要望	受付方法
52	<p>こういう事態を放置するとどうなるのでしょうか。間違いなく、区民の間に「子育て格差」が生まれます。外勤の正社員同士の共働き世帯は、質の高い、保育料が相対的に安価な認可保育園を利用できます。入園審査でも最も点数が高く有利だからです。一方、経済的に余裕のないパート労働者や病気や介護などで保育園を利用したい家庭は、入園審査で点数が低く、外勤世帯で枠が埋まってしまい入園が難しくなります。保育料が割高で、職員の離職率や利用者の回転率が高い認証あるいは民間保育サービスを利用するか、極端な場合は区から転出するしかありません。保育に欠ける子どもは保育を受ける権利があるのに、その権利を行使できず、結果的に子どもの育ちに悪影響が及びかねません。</p> <p>少子化も進みます。女性の労働力率は、少子化と密接な関係があります。猪口前少子化担当大臣が文京区で開催した「子育てシンポジウム」で発表した資料によると、15～64歳の労働力率が65～70%くらいに達すると、少子化が止まり、出生率が上昇に転じることが各国の事例で検証されています。国内でも労働力率が高い都道府県ほど出生率が高く、正の相関関係が存在します。</p> <p>文京区の水準では、現在のような他地域からの人口流入が続かない限り、少子化は確実に進みます。実際、文京区内の乳幼児人口は98年以降、増え続けているのに、出生率は低下しています。国勢調査が実施された2005年時点では0.79と、前回調査の2000年の0.85からさらに後退し、過去最低水準で推移しています。</p> <p>保育サービスの量を増やす中で、質を犠牲にするわけにはいきません。その保育の質について、保育ビジョンで触れていないことにも疑問を持ちます。</p> <p>保育と託児は違うということを、文京区の認可保育園に子どもを預けて初めて思い知りました。文京区の認可保育園は、世界に誇れる保育園です。子どもが現在、2人区立保育園に通っています。入園前は「保育」と「託児」の違いを考えたこと子どもの利益を最優先し、子どもの育ちを見据えた保育を子どもたちに享受させたく、仕事をやめたくてもやめるわけにはいきません。</p> <p>保育の質は、決して特色の質ではありません。つまり、延長保育や一時保育、そのようなメニューをたくさん用意している保育園が質の高い保育園ではないのです。「保育の質は生活の質。生活の質は人間関係の質である」と保育の質の研究者である大宮教授は語っています。その保育の質を維持・向上するには、条件の質、つまり保育園で働く保育士などの労働環境などが極めて大事であることは、日本内外の研究者が唱えています。</p> <p>ところが、ここでも文京区の保育政策には疑問があります。財政悪化で退職者不補充策を一時期とったため、区立保育園の場合、調理師や栄養士を含む正規職員（産休、育児休業取得者は除く）1人あたりの園児数は2000年の1対4人から、2005年には1対6人に増えています。それでも質が大きく低下していないのは、先生方が休みなどを削って精一杯がんばっていらっしゃるからです。</p> <p>保育園の民営化問題で最大の焦点となったのが、保育の質です。お金をかけなければ、質は担保できません。ならば、区民を納得させ、その財源を探していかなければなりません。また、保育園だけでなく、幼稚園の有効利用をも視野に入れなければ、需要に追いつくことは到底無理です。</p> <p>「文京区は子育てによさそうだから引越してきたけど、保育園に入るのも大変だし、入っても民営化されてしまうかもしれない。しかも、小学校も大変なことになっているから、引越そうかな」と真剣に考えている人がにわかに増えています。若い世代と子どもが住民として定住しなければ、区は活力を失うことはいまでもありません。仮に財源が不足するならば、保育料の見直しも必要です。質を担保するためならば、保育料の引き上げもやむをえないと感じている保護者は大勢、存在します。保育の質に関する保護者のアンケートでもこのことは明らかになっています。せつかくの危機を見逃すのはもったいないです。当該利害者のみならず、区民の豊かな生活を20年、30年保障するためにも、真剣に保育改革に取り組んでほしいと思います。保育園保護者が活動がんばっているのは、自分の子どもたちの権益を守るためだけではありません。文京区にずっと住みたいから、そして文京区のすばらしい保育園をもっと多くの人に利用してほしいからこそ、自分の子どもとの貴重な時間を削ってでも活動を展開してきました。ただ、ここにきて文京区の行政には落胆することが多すぎます。我が家もそろそろ真剣に転出先を模索し始めています。</p>	その他

■ はじめに～第Ⅲについて

No.	質問・意見・要望	受付方法
1	<p>「子どもを最優先するまち」このビジョン10文字に反感。特にセンターポジションをとっている3文字最・優・先に関しては疑問符！</p> <p>区民として存在する人間に等しく〈最優先〉してほしいし、それが筋では??</p> <p>未だ結果として(周囲の大人のねがい、思い、期待はあれど)何も・何ひとつ区民・区に対して残していない、やっていない人間(子どもたち)に、最優先の恩恵を与えるのはいかなものか。むしろ、文京区に区民として何十年も存在し、納税義務を果たし、区に貢献し続けている人間にこそ、その恩恵は提供されて然るべきではありませんか?!</p> <p>長年、何十年も区民として存在し、区の財政に貢献している人間こそ、本当の区民、結果を出している有難い人間でしょう。</p> <p>子どもは未知、せつかく多大なる税をつかっても、何の財政貢献もせず、他所の人間になることもあり、文京区というふるさとの存在に何一つ貢献しないことも当然のことながら推測すべきでしょう。</p> <p>子ども最優先はあやまり、さっかくでしょう。長年働いて貢献している功労者をもっと大切にすべきです!真に大切に有難い存在、区が区として存在していただける訳を、委員の方はもっと自然に考えるべき。</p>	はがき
2	<p>「子どもを最優先するまち」という表現について</p> <p>なぜ「子ども」だけが最優先されなければならないのか。「障害者」や「高齢者」は後回しでよいのか。どうして平等に尊重されなければならない区民の間に順位づけを行わなければならないのか疑問です。これでは到底全文京区民が共有すべき「文京区」子育てビジョンであるとは言えない。将来を担う子どものことを考えることはよいと思うが、表現としては「子育てに優しいまち」とか「子育てを区民全体で見守るまち」ぐらいの表現で十分だと思う。</p>	メール
3	<p>「保育ビジョン作成の背景」にある「認証保育所の増設」を望む人が増えている…と言う文章には、違和感を感じた。認可ではなくあえて認証を求めるのはどうなのか?本当に調査を行なった上での「望む意見」なのか説明願いたい。</p>	その他
4	<p>保育ビジョン作成の背景(3)就労支援の充実の必要性 「認証保育所の増設」、…などの充実を望む人が増えています。→なぜ「認証」保育所か。増えているとする根拠となるデータやアンケートがあれば出して欲しい。そうでなければビジョンとしてうたうのだから現在のところ一番保育の質が高いであろう「認可保育所」と書くべきではないか。この一文を根拠にして「認証保育所」を作るなどという政策を打ち出すつもりなのかと思ってしまう。絶対に削除して欲しい。</p>	メール
5	<p>文京区では、なぜ子どもを最優先するまちをめざすのですか。寿会館の廃止や介護保険料の値上げなどは冷たい仕打ちです。子どもだけにお金を使うのではなく、高齢者や障害者にも目をむけてください。</p>	はがき
6	<p>「保育ビジョン作成の背景」について</p> <p>背景とされているものの根拠が示されるべきではないか?例えば「認証保育所の増設」を望む人が増えていると言い切るのであれば、その根拠は何か?この点に関して言えば、良質の保育施設の増設を望むが、それは認証保育所に限ったものではない、というのが一般的意見ではないか?(※これの統計的根拠もないが、私を知る限りの保護者の意見として)</p>	その他

■ Vision1 「子どもの育ちを見通した豊かな乳幼児期の保障」について

No.	質問・意見・要望	受付方法
1	6頁「公園を遊びとふれあいの場にしていく」に公園の整備という項目があるが、現実的には、公園の数を減らしているのでは。また、はらっぱ型のスペースを設ける、という具体的な中身を知りたい。	説明会
2	「公園を遊びとふれあいの場にしていく」をモットーにしているが、新大塚公園の問題など、公園は少なくなってしまうと聞く。保育園の散歩コースにもなっている公園が無くなる、茗荷谷周辺の桜の木が伐採されてしまう。それでこんないいことをうたっていていいのか、と思った。	説明会
3	公園が減らされている現状がある。ふやしたり、なくす園の代替案が明らかにされていないのに、“公園の整備・改良”と示されている。現実をもっとみてほしい。	はがき
4	公園について（須藤公園の現状） 犬をはなしている人がいる。ゴルフの練習をしている人がいる。具体的な対策が必要。	はがき
5	公園の整備・改良を議論するより、まず公園の廃止を撤回する方が先です！公園の絶対数が減っては、残る公園を多少改良しても、マイナスの方が遥かに大きいはず。うちの3歳の子供は新大塚公園が大好きですが、こういう子供に、大好きな公園はなくなってしまう、そこに今は別のところにある学校が引っ越してくる、その学校の跡地は子供に全然関係ない建物（マンション？オフィスビル？）が建つ、なんていう無茶苦茶な話を、いったいどうやって説明しろというのですか？ビジョンに書かれているような方針で、本気で公園を整備するというのなら、どうせつぶす公園なのだから新大塚公園の既存施設をグラウンド含めて全部潰して「はらっぱ型」の公園に作り直すくらいの気合を区側に見せて欲しい。	メール
6	公園をより良いものにしてゆきたい、というのは賛成ですが、それより現在ある公園の廃止を撤回させることの方が先決だと思います。今ある公園を維持する、というのも、是非ビジョンに入れていただきたいと思います。だいたい、いまどき公園を減らそうなんていう素頓狂な計画が真顔で進められている区は23区内でも数少ないはずで（たぶん文京区だけ）、選挙を控えた区長の見識を問いたいです。	メール
7	「公園の整備・改良」（6ページ）について 公園は区民全体の財産であり、子どもだけが排他的・独善的に使用できるものではありません。高齢者が増えているのは明らかですので、むしろ、高齢者が筋トレできるようなものも必要になってくると思います。あまり「子ども」ばかり強調すると、子育て世帯以外の大多数の区民の共感は得られないのではないかと。また、公園の近くの人がすでに公園の自主管理を行っているので、子育て世帯の人たちもこうした活動に積極的に関わることで、地域とのかかわりを大切にしてほしいと思います。	メール
8	母子家庭の助成金がカットされたり、定率減税廃止など、子育てにはますます厳しい現実がやって参ります。家族形態も変化していく中で、共働きが当たり前になり、子どもが孤立しがちになってきますが、保育園がそれを補えるかといえば答えはノーです。保育というと単純に子どもに関わる施設に資金投入しがちですが、やはり核家族化が当然の時代にあっては、社会的な広範囲な視野に立って、極力他人任せにしない、特に子育てを商業的ベースに巻き込まないことなども肝要と存じます。町内の老人との接点を設けてみるのも一役となると思います。	はがき

No.	質問・意見・要望	受付方法
9	<p>かつての地域社会では、子どもたちは親や先生ばかりでなく、近隣の大人たちに「ほめられ」「はげまされ」「叱られ」「教えられ」て育ちました。</p> <p>子育ては家庭や学校教育の改善、保育施設の充足ばかりでなく、住みよい街づくりに対する大人社会の意識改革こそ大切と考えます。</p> <p>「うっかり注意できない」大人たち、「よその大人はこわい」と思う子どもたちの社会は不幸です。</p> <p>保育ビジョン策定についてぜひ上記視点を盛り込み、「ほめ方、叱り方」上手のセミナーやキャンペーンを具体策に取り入れ、「ありがとう」が交わされる地域社会を目指してください。</p>	はがき
10	<p>I-1 (2) について</p> <p>統廃合によって産出する広大な土地を、公園にしたりする努力が必要。安易にマンション団地にはしないよう。</p>	はがき
11	<p>I-5 について</p> <p>取り組む職場に対して、予算や病児保育施設の設置。その保育士・看護師をあっせんしたりする事が必要。旗ふってガンバレというだけでは何もならない。</p>	はがき
12	<p>文京区には、行政としてビジョン I 3-4 にある「まちの環境整備ー長期的な視点から子どもの安全安心な育ちを保障する」を目に見える形で実行してほしい。それは道路を整備してガードレールをつけることではなく、子どもが育つ街なみを保存することである。ゼネコン偏重の建築ではなく、古い家、歴史のある公園や樹木の保存である。今の区長は新しいものをつくることに偏っている。今あるものは、壊してしまえば、そこにあった歴史もなくなってしまう。今の区に欠けているのは、落ち着いた安心感。子どもに必要なのは、のびのびと遊べる環境である。無理な小中の統廃合計画などもビジョンの検討にいれてほしい。管轄違いで扱われなければ、結局このビジョンも無になってしまう。</p>	はがき
13	<p>「高層建築規制などを中心とした都市計画のあり方の検討」とありますが、土地の高い都心にある文京区ではある程度高度利用もやむを得ないと思います。現実に高層マンションで子育てしている家庭も多くいます。また、防災の観点からも木造が建て込んでいる地域の対応は必要と思います。</p> <p>もっと文京区全体を見据えたまちづくりの視点を持つべきではないでしょうか。</p>	メール
14	<p>食品添加物、メディア、生活リズムなど、家庭にあった提案、指針のような、戻れる場所がほしい（本などを参考にしているが、かたよりがでてしまっているように思う為）。</p>	意見シート
15	<p>私は私立幼稚園5年、社会福祉法人の保育園で10年働いているものです。</p> <p>(3-3) 子どもたちが豊かに育ちあう場としての保育園を守っていくという所で、“区立保育園は子どもたちがゆたかに育ちあう場を提供しています”とありますが、私が働いている社会福祉法人の園でも子ども達一人ひとりの事を考え、豊かに成長できるように職員は努力しています。ですので、この場で“区立保育園”とだけ書くのではなく、社会福祉法人も含めた書き方をしていただきたいと思います。区立保育園だけでなく、社会福祉法人園も文京区の大きな財産ではないかと思ひます。</p>	はがき
16	<p>公園を強化するという一方で公園が減るのは何故か？</p> <p>現在、新大塚公園の廃止も議論されているが、そうした中で公園機能を強化することはできるのか？まず公園廃止の計画を撤回するのが大前提ではないか？まずそこに公園がある、ということが何より大事であり、残る公園の機能強化で失われた公園を超えて余りある機能が提供される、というのは詭弁ではないか？都心部ではバブル崩壊以来初めての本格的な地価上昇局面を迎え、マンション業者ですら開発コストがカバーされるか逡巡する状況で、一度失われた公園と同等の規模・機能の公園が区内の別の場所で将来確保されるとは到底思えない。区の財政改革を考えるのであれば、こうした、失われた戻らない「資産」に手をつけるより、まず「コスト」の圧縮を徹底して考えるべきではないか？また、本ビジョンの中でも大型施設の導入なども想定されているが、そうした大金のかかる事業を検討する前に、今あるものを大事にしてほしい。</p>	その他

No.	質問・意見・要望	受付方法
17	電子メディアからの解放。絵本好き。具体案を期待します。 外国人の問題ですが、彼らにはまず日本での慣習を教えるべき。生活習慣をまったく変えろと言ってもムリな話ですが、こっちで生活していくならそれなりに努力してもらわないと。その手助けもしてあげるべきだし。本とか用意するなんて言葉があったように思いますが、そんな必要はない（ニューカマーのコミュニティはしっかりしているの）。いろんな意味で迷惑している人もいるし、逆にこまっている人もいるはず。もちろん日本の子たちも「外国人」を差別しないようにするし。	はがき
18	3-3の本文より。「現在、区立保育園は（以下省略）」とありますが、私立保育園でも同等かそれ以上の豊かに育ちあえる場を提供しています。「区立保育園は」と限定しない方が良いです。たとえば「現在、文京区の保育園は…」との文章に変更を希望します。	メール

■ Vision2「子育て支援・親の支援」について

No.	質問・意見・要望	受付方法
1	10 頁の窓口の一元化の中身を、もう少し説明してほしい。地域保育士やファミリーソーシャルワーカーについて、具体的にどのようなことを考えているのか。	説明会
2	ビジョン 2 の目標 3 の協働・協治。ここでうたわれている内容は、これまで議論されてきた協働・協治とはかなり違う内容で違和感がある。ワーキンググループのまとめの文章を読むと、ここに書いてある協働・協治とはかなり違う協働・協治が書いてあって、どうしてまとめの文章をつくる時に変わってしまったのか疑問。その内容について委員がオーソライズしているのかが気になる。	説明会
3	協働・協治について 協働・協治についての記載（vision2 目標 3）が、これまで言われていた協働・協治から変質してきている。中身が 5 項目ぐらい書いてあるが、修飾とって動詞だけ並べると、 + 連携を強め、地域割りを見直します + ネットワーク化をすすめ、サービスの委託を行う + 子育て活動団体の自主的な活動を支援 + 話し合える場を設け、子育て支援の輪を広げる。情報を共有し、信頼できる関係づくりをすすめる。 + NPOへの計画的かつ継続的な支援の開始 となっている。これが、「区民との協働・協治」でしょうか？PDF版でついているWGでの議論内容とも乖離しているように見えます。37 ページ (4)、39 ページ (5) の議論内容などを参照。	メール
4	13 頁「施設の整備」に、大型施設の整備とあるが、これは新たにつくると捉えてよいのか。なぜ大型施設が必要なのか。小さなものがあちこちにある方が子育てには必要ではないかと思う。保育園に入れていないお母さんからは、気軽に行ける場所、という声をよく聞く。いくら交通の便がいい文京区であっても、あえてこれを出してきたところが、この説明ではわかりにくい。	説明会
5	施設の整備について。大型施設の整備を考えていこうというところで、それは時間もかかるので、代替的に国や都の関連機関の誘致を進める、というご説明だったが、直感的に関連機関の誘致を進める方がよほど時間がかかるのではないかという気がする。代替手段にはならないのではないかと思うがいかがか。 14 頁に 2 行だけある内容が、今あるものをどう使っていくか、ということで、時間もコストもかからない部分。バランスとして、お金のかかることに集中していて、本当にやるべきことがたった 2 行なのはおかしいのではないか。	説明会

No.	質問・意見・要望	受付方法
6	相談窓口が一元化されるのは非常にありがたいが、相談して使わせてもらうサービスは、どこか区に1か所ある大きな施設にあるというよりは、地域にないと使えないと思う。窓口の一元化の議論とサービスを提供する場の一元化の議論はまったく別で、後者は、時間・お金がかかって、結局使い勝手のよくないものになってしまうのではないかという懸念をもっている。	説明会
7	大型施設について。こういうサービスは必要で、センター機能的なものがあり、なるべく1か所で利用できるというと思うが、ハコをつくらないとサービスを受けられない、ハコがないからサービスはできない、というのは逆転している。また、まず大型施設があつて、あまったら、従来からある子育てのための施設の整備もした方がいい、という書き方になっているが、これは逆だと思う。まずはサービス機能が使いやすいといい。区役所の会議室や図書館など、小さい子どもがいっしょに集まれるような整備を考えるのはいいと思うが、大型施設ありきというのは違和感がある。大型施設のサービスは必要だが、ハコがないとできない、でなく、まずサービスを充実した方がうれしい。 国や都の関連施設の誘致を進める、とある。都の児童館は老朽化しているので建て替えもあるかもしれない。東部医療センターは、東部療育センターのことか？これは重症心身障害児の施設であり、誘致を進めるというのはアイデアかもしれないが、順番としては最後だと思う。	説明会
8	大型施設の建設が検討されていますが、ハコの建設にかかる費用よりも、サービスの充実にお金をかけていただきたい。文京区でもその施設に近い人ばかりでなく、メリットを享受しづらい。医療体制、保育園の受け入れ体制、親の就労支援など、（施設への移動をしなくても）区民として誰もが享受できるシステムづくりを優先してほしいです。	はがき
9	「大型施設の整備」は新たにつくるのか、現実の施設を活用できるようにするのか、不明確である。新たに作ることには疑問がある。	はがき
10	大型施設の整備が必要なのかも疑問。区内でアクセスしやすい・・・などあっても、所詮、交通機関を使って行かなくては無理な場所では、利用者は限られる。小さな子どもを連れて、電車やバスに乗るだけでも大変なのに、日常的に通うなど考えられない。窓口が一本化されるのはいいが、日常的施設が一本化されるのは困る。「従来からある子育て施設も充実・整備を進めていく必要…」ということのほうが、より身近で具体化しやすいはず。是非、今回集まった意見を踏まえ、委員会を継続して欲しい。早急な結論を出しても、絵に描いた餅になってしまっただけでは意味がない。せつかく、委員の皆さんが時間と労力を費やし協議しているものであるからこそ、実りあるものになることを望む。	その他
11	何か（特に大型施設）をつくりたいというように受け取れる箇所がいくつか見当たる。予算を確保されていると聞いてないが、現実的になるのか？シビックセンターそのものの建設だけでも、区民にしわ寄せがきているのに、それ以上に負担がかかると非常に困惑する。	メール
12	大型施設の建設の必要性について 現段階で、大型施設を区内に建設するよりは、なお書きにもあるように、従来からある施設を充実整備し、あるいは現在児童を対象とはしない施設を整備して子育て支援に活用できるようにしたほうが実効性があると思います。どんなにすばらしい施設であっても、実際に小さな子供をつれて乗り物を使って利用することは大変困難です。必要とされるのは、身近にあつて、多機能の使いやすい施設ではないでしょうか。もちろん、この大型施設で提供すると提案されたサービスについては実施する必要があるとしても、それと、大型施設を建設することは別の問題だと思います。あたかも、大型施設を建設しなければ上記サービスが実施できないとすれば、かえって、子育て支援サービスの充実を遅らせることになりかねません。さらに、文京区の財政状況を鑑みれば、大きな建物をこれ以上建設することはよほど慎重に検討すべきだと思います。	メール

No.	質問・意見・要望	受付方法
12	また、国や、都の施設の誘致については、相手方から要望があればともかく、区に求められる機能を考慮すれば、そんなに優先度が高いとは考えられません。そのような施設は広大な敷地を要するので、それだけの場所があれば、他の施策との比較の上で、利用方法を検討するべきでしょう。	メール
13	「大型施設の整備」(vision2 目標 5) 何で箱物行政が出てくるのか、理解できません。将来にわたって区財政に一定の負担を及ぼす大型施設の整備については、極めて慎重に議論すべきと考える。区内の交通機関の接続形態を考えても、どこか1箇所に大型設備を整備することで、区内どこからもアクセスが容易で小さな子どもを連れての移動が便利な施設にはならない。例えば、緊急一時保育などは、公共交通を使わなければいけないような場所では不十分。	メール
14	6. 施設の整備 (1) 大型施設の整備 大型施設の必要性が理解できない。文京区は下町方面から山の手方面へのアクセスが悪く(今度バスが通り少しは良くなりますが)たとえば区役所方面に大型施設ができて少しも子育て支援になるとは思えないし、行かない。子育て支援施設は近所にあつて、アクセスが良く、地域とつながっているからこそ有効に働くと思うので、大型施設などは全く必要がないのではないかと。何億もかけて大型施設を作るより、子育て支援の専門の職員を何人か雇う方がよっぽど有効に機能すると思う。子育てひろば、地域の交流館など既存の施設を拡充する方向で考えた方が無駄な税金が使われずに済むと思う。	メール
15	「施設の整備」として「大型施設の整備」とあるが、新たに大型施設を整備することはいかがか。ハコモノを新たに作ることに税金(税金)をかけるのではなく、現在あるサービスを有機的に結びつけ、必要なサービスを的確に提供できるような「ソフト」を構築することが一番必要だし、現実的なのではないか。ネットワークは大きく、施設は身近に、というほうが「地域を巻き込んだ子育て」には近道になるのではないかと。	メール
16	ショートステイについて。ショートステイの需要は非常に少ないし、使わない方がいいと思うが、必要となるときに使えないというのは、逆に非常に不安が高い。現状でいえば、親が入院したときや、子どもの入院の場合も小児科病棟は親がつきそうように、ということが多く、兄弟がいたらどうなるか。祖父母も働いていたり、その親の介護という場合もある。安心して子どもを育てるためには、万一のときにはいつでもバックアップします、ということがあると、大丈夫だと、負担感がものすごく小さくなると思う。もし今、文京区の子どもがショートステイが必要になった場合、0~1歳だと乳児院に措置になるが、乳児院は都内にいくつも無いし、どこも満員。どうしてもという場合には町田、東青梅、ということもある。2歳以上だと石神井か立川で、満杯だったら足立、八王子という場合もある。これでは安心して、とはいえないと思う。 「区の事業としてショートステイの実施を検討していく」では、ずっと先の話に思える。区内に乳児院や養護施設があればベッドを借り上げればよいが、施設がない文京区で具体的にどうしていくか。難しい問題と思うが、実施を検討でなく、すぐにでも実施できる、という施策を何とか考えていただければ、今子育てしているお母さんたちの重荷を軽くすることができ、それだけ文京区が本気であることがよくわかると思う。	説明会
17	ショートステイの早期実施について まとめでは「実施を検討していく」とありますが、すぐにでも実施すべき事業だと思います。現状では、主たる養育者、特に母親は、病気になっても十分療養できず、入院することもできない事例もあります。家族の病気等ばかりでなく、二人以上の子供がいて一人が入院した場合、家族の付き添いを求める病院も多く、その際子供の病気以外にも保護者に多大な負担がかかります。安心して子育てするためには、万一の場合の保障が必要で、例え数は少なくとも是非早急に事業を実施してください。 実施方法としては、独立した施設を設置できなくても、取りあえず、区外の施設との契約、区内の日中保育施設(保育ママ等を含む)のサービスの拡大、子供の自宅への保育者の派遣等々考えられます。	メール

No.	質問・意見・要望	受付方法
18	<p>ショートステイ（短期間の24時間保育）（vision 2 目標4） ショートステイを24時間保育でおこなわなければならない理由、またコストとベネフィットのつりあいがわからない。個人的には区の事業として行う必要はない、と考える。</p>	メール
19	<p>私は9歳、4歳、3歳の3人の子どもを育てている。一番上の子を育てているときシングルマザーだった。当時つきあっていた人にDVにあい、保育園関係には相談できず、区役所の福祉課等、いろいろ相談できるところを訪れたが、たらいまわしだった。結局、男女平等センターのカウンセリングルームで相談をしたが、その後もDVは収まらず、最終的には相手は警察に逮捕されてしまった。そのとき、娘はそういう事件があったにもかかわらず保育園に行きたがり、私は事情聴取があり、仕事も24時間体制のフリーのために1度断ると2～3か月は入ってこないし営業もしないといけない、とパニックになってしまうという状態が娘が5歳になるまで続いた。</p> <p>今は結婚しているが、下の4歳、3歳の子が熱を出したりすると、どうしても仕事を休まないといけない。フリーが仕事を休む際は代役が必要で、その代役との打ち合わせに行かなければならない。文京区は病後児保育の施設が少なく、いつ問い合わせても利用できず、結局、茨城の離れた実家から母を呼んで見てもらう、という手段になってしまう。病後児保育のできるところがあるといいな、と思う。</p>	説明会
20	<p>他区に比べ、一時保育をする施設が少ないと思います。フルタイムで働いているお母様方以外にも、保育園に預けられるような支援をお願いします。</p>	はがき
21	<p>私は現在のところ主婦として育児をいたしております。数年前、流産のため緊急入院する際に、当時の「目白台緊急一時保育所」に3歳の子どもを預けましたが、職員不足のため、午前中に誰かが迎えに来るように言われました。私共夫婦は地方から大学進学で上京し、その後文京区に住所を定めましたので、大切な子どもを託せるほど信頼できて、かつ時間の余裕のある知人は近くにおりません。だからこそ、公的施設に頼むしかなくて連絡しているのに、何のために高い住民税を払っているのかと、流産の悲しみと合わせ、涙が止まらないほどの情けない思いを致しました。結局、夫が職場を午後早い時間に早退することができ、職員の方も待っていてくださったので、本当にありがたいことでした。</p> <p>2006年秋から、同所は「目白台一時保育所」となり、職員の方々の体制は整いましたが、「利用日の3日前までに書面で利用申請」「利用時間は4時間または8時間の固定制」と、非常に使いにくいシステムになっています。親の通院やそれこそ流産等の緊急時に役に立ちません。せめて「利用当日までに利用申請」にするなど、改善をお願いいたします。</p>	はがき
22	<p>産後の主婦に介護保険からヘルパーを派遣してください。特に核家族で体のあまり丈夫でない人をお願いします。</p>	はがき
23	<p>理想的な目標が掲げられているが、それでは目標を実現するために実際何をするのか、というところまで話が進んでいないので、実現はまだまだ先のことになりそうだと思う。公園や保育園を充実させる試みは期待できるし、現在行われている公立幼稚園の園庭開放や児童館・図書館の幼児教室には私も大いに助けられている。ただ、乳幼児をもつ母親は、外出するのも困難であることも考慮に入れてほしい。離乳食やお昼寝等のタイミングがうまく合わないと、外遊びもできずに家にこもってしまう。この“母子カプセル”を解消できる支援も考えてほしい。</p>	はがき
24	<p>母親学級を土日開催してほしい。</p>	はがき
25	<p>夜7～8時くらいまで開いている産婦人科医院を地域に1つは設置してほしい。</p>	はがき
26	<p>施設の整備として、年長児には安全な遊具がそろった公園を、赤ちゃん世代にはスウェーデン方式ともいわれる子育てシェルターを作ると、親同士の交流も深められ、孤独な子育てをしている親子の心のよりどころとなるのではないのでしょうか。ポーネルンドが安全性にも優れていると感じます。</p>	はがき

No.	質問・意見・要望	受付方法
27	<p>「NPOや市民活動団体を支援」(vision 2 目標 3)</p> <p>NPOや市民活動団体にも、ピンからキリまであって、しかも制度的に質や客観的な評価が担保されているわけでもないと考える。NPOだから、という理由で支援するのは、おかしいのではないかと考える。どう評価するかが、重要と考える。また、ここでいうNPOは、広義のNPOなのか(であれば、保育園の父母会も該当)それとも、NPO法人のことなのか不明。なぜ、NPOを支援するのか、論じてください。</p>	メール
28	<p>vision2 子育て支援・親の支援 将来像のなかにある、「子どもの幸せを支援することは、決して親の利便を優先することではありません」という一文は、親自身、忙しい生活の中で楽なことを考えがちで、ふと忘れてしまうのですがとっても大事なことだと思うのでもっと強調していただきたい。そして、区としても「多様なニーズに応えるという」ということを理由に親の利便だけを考えた政策を決めてしまう傾向があるので、「子どもの幸せを最優先する」ことを忘れないでいただきたい。</p> <p>目標(2)は保健所をもっと有効に活用できないか。保健師の方などフットワークも軽く専門職員としても適していると思う。</p>	メール
29	<p>4. 養育サポートの充実 「子育てひろばの拡充」</p> <p>利用した経験から、利用が時間がもう少し長く、4時くらいまであいていると良いと思う。児童館などでやっているような「ふれあい遊び」といったイベントのようなものも行われると良いと思う。アクセスが悪い人もいるのでもう少し数が増えるとよい。</p>	メール
30	<p>病児看護休暇を会社が与えることも重要ですが、病児保育施設をもっと用意して頂きたいと思います。</p>	メール
31	<p>家庭で保育していると、他のこどもたちとの接触、遊びが少なく、これでよいのかと不安に思ってしまう。こどもどうしのフレイイの場、もまれる場を提供してあげたいが、こどもにとって良い、あう方法がわからなくて、悩んでしまうことがある。こどもとずっと一緒にいたい、につまってしまうことがある。</p>	意見シート
32	<p>幼稚園、保育園に通園していないこどもの定期的に集まれる場所を増やしてほしい(定員制の為入れないこともある為)。</p>	意見シート
33	<p>大型施設の整備と書いてあるが、ゼネコンと癒着したハコ物行政はごめんこうむる。そんな金があるなら障害者や高齢者のためにもっと使ってほしい。だいいちゼロ歳児の保育には1人当たり何百万円かかっているのか明らかにしてから話しを進めてもらいたい。税金は区民に公平に使ってほしい。</p>	はがき
34	<p>子育て相談について</p> <p>積極的に外に働きかけができる人とそうでない人がいると思います。後者は相談を受けられる体制が整っても独り悩み続けるのではないのでしょうか。その方策はありますか。</p>	はがき
35	<p>大型施設の整備は必要か?</p> <p>Vision2の6(1)で述べられているような大型施設の導入が必要かは、コスト面も考えれば慎重に検討すべきではないか?支援サービスの一元化にあたり、まず支援を求める保護者・子どもが相談できる窓口が幅広い機能について対応できることは重要であり、それに関して中央集約的な組織・施設を配置することの意義は理解できるが、一方で、日常的・恒常的なサービスは、出来る限り自宅に近いエリアで受けたいのが実際ではないか?窓口の一本化とサービスを実施する場所の一本化は、別の議論。保育機能を担う中核施設である保育園保育士の削減すら最近とってよい過去において議論されたような厳しい財政状況を考えれば、まずは相談窓口を一本化し実際のサービス提供については今ある施設をどのように強化・活用していくかを考えるのが、コストを抑えながら必要なサービス水準を確保するために取るべき本筋のアプローチではないか?6(1)の末尾に、従来からある施設の充実・整備について一文のみ付加されているが、それまでの大型施設設備の議論とのバランスがおかしいのではないかと?第2ワーキンググループの「議論の整理」には、こうした既存施設の拡充が相当に議論されたことが記載されているが、これと中間のまとめ本文のVision2の内容の間には乖離があるように思われる。</p>	その他

No.	質問・意見・要望	受付方法
36	<p>まずは、策定委員会の皆様、お疲れ様です。中間報告を拝見して、これが全部実現したら、ものすごく子育てしやすい社会になるだろうなあ…、と思いました。Vision2に掲げられた、区役所の窓口の一元化はぜひとも実行していただきたいもののひとつです。区役所の窓口で、専門的な相談ができる保育士さんやプランナーさんが常駐してくれると、母子手帳をいただくとき、出生届を出すとき、保育園の申し込みのとき…、と折々に相談ができそうです。</p>	メール
37	<p>現在の専業主婦の立場から言えば、乳幼児が午後でも安心してあそべる施設をもっとつくって欲しいです。児童館は午前しか利用できないので困っています。ピョピョ広場のような小さい子ども専用のあそび場があれば、子育てのネットワークも広がります。つい自宅にこもりがちになるママの味方になってください。お願いします。</p>	はがき
38	<p>残念ながら、今後の保育ビジョンでは具体策は何も見えてきません。ここで文京区が早急に取り組むべき課題をあげます。</p> <p>ビジョンでは何も挙げられていませんが、仕事をもつ母親にとって最も必要なのは病児保育であることをはっきり申し上げます。保育園、ベビーシッターは37.5℃以上の熱では預けられません。しかし一方、その間、仕事を休める訳でもありません。保育ママは発熱時に対応できないため、現実の要求に応えるものとなっていません。文京区にはたしかに病児保育はありますが、区全体で定員が4名とは絶望的です。毎日ウェイティングリストには、希望者のお名前がずらりとならんでいます。もっと現実を直視した区政を行ってください。</p>	はがき
39	<p>「親の育ち、子の育ち」の観点から区立保育園全園での緊急一時保育を実施して下さい。そして在宅ママ達が生きていくための場を提供して下さい。</p> <p>親が子育ての中で育つとはどういうことなのか？現在二歳になる息子を持つ在宅ママの視点から述べさせて下さい。今までの短い子育ての経験から感じた事は、時の流れるままに親も子も如何様にも育つという事です。</p> <p>私が今まで出会った文京区在住のママ達は一様にまじめで責任感のある方が多く、子育てにも真剣に取り組んでいる印象が強いです。なんと文京区では0歳～3歳までの子供達の七割以上が家庭内養育されているらしいので、まだ会っていない在宅ママは区内にはたくさんいるんですね。</p> <p>子供が生まれて二カ月の頃、家に二人っきりで閉じこもっているのが苦痛で、保健所のおしゃべりルームに参加しました。これはとても有意義でした。ただ同じ月齢の子供を持つママ達とおしゃべりするだけなんです、グチや不満を言い合えたり、情報交換などもできたりして、楽しかったです。帰り道はタクシーも使わず、子供をスリングに入れて鼻歌まで歌って帰りました。</p> <p>次に参加したのは、先のおしゃべりルームで仕入れた目白台図書館での「はじめのいっぽ」。乳幼児対象の読み聞かせの会でした。未知の世界の絵本…これにはとても惹かれました。早速図書館で年齢別対象の絵本冊子を頂き、今では毎日の読み聞かせは我が家の日課となりました。読み聞かせの後はまたまたおしゃべりタイム。ここで近くに住むママ友達をゲットする事ができました。</p> <p>六ヶ月頃には新宿区にある榎木町の児童館に、知り合いのママ達と連れ立ってよく通いました。ここは各階ごとにフロアが別れていて、それぞれ乳幼児、就学児と使用する部屋が違っているので、安心して子供を遊ばせる事ができます。施設も清潔で、安全な部屋づくりも成されていて、何よりも居心地がいいのです。</p> <p>この場所でまだ知り合っていないママ達と、育児の悩み事以上にいろんな話をしました。よくみんなで大声で笑って話していました。そんな中で子育てに順調そうなお母さんが意外な悩みを抱えていたりしてビックリした事があります。自分も含めて結構みんな悩んでいるんだな～と度々感じました。</p> <p>子供が元気に遊んでる側で、ホントよく朝から夕方まで語り合いました。そういえばこの頃から育児雑誌は買わなくなりました。</p>	メール

No.	質問・意見・要望	受付方法
39	<p>ちょうどこの頃、二ヶ月頃から始まった息子の湿疹がピークを迎えます。病院に行っても一向に改善されず本当に毎日悩みました。もしかしたら自分の母乳のせいなのではないかと、ストイックなまでに食べるものを制限したり、石鹸・水・ハウスダスト・空気清浄など肌に良いと聞くとすぐに生活に取り入れたりしました。</p> <p>今思い返してみると自分の世界の中だけでどんどん落ち込んでいくという感じでした。そんな時あるサークルに参加していたところ、あるお母さんから息子がしんどそうな顔をしていると言われました。そこでハッと我に返りました。息子の湿疹しか見ていなかったの、体の状態まで目がいってなかったんです。きっとこの頃は一生懸命に私に笑顔に向けていた息子の顔も見逃していたに違いありません。肌のきれいな他の子と息子を比べたりして、彼のあるがままの発達や姿を見ていなかったんです。</p> <p>二歳になると突然息子はイヤイヤボーイに変身しました。私も負けじとダメダメママに変身です。ある年配の方から「これは正常に発達している証拠です」と言われて少し気持ちが楽になりました。でも自分が精神的にゆとりがない時は息子を怒鳴りつけたり、時には手が出たり・・・そして大きな後悔の波がきた後自分の育児に自信がなくなっていく。何でも私ばかり～が心の中でこだまします。主人に話してもこちらの気持ちがヒートアップしていたり、無気力に陥っていたり、素直に意見を聞くことができません。そんな時、今よく通っている豊島区の児童館でママ友に相談すると、明るく笑われて言われました。「うちもそうだったよ。でも怒る前に10数えるの。はじめはできないけど段々と気持ちが落ち着いてくるから」。その言葉でその時を乗り越えれたと思います。なぜなら息子の笑顔が確実に増えたから。以上は私自身の親として少しでも階段を上れた瞬間の中のいくつかです。先述の通り、子供の成長に沿って親も親として育ちます。しかし親がどのように育っていくかで子供の育ちは大きく変わっていくと思います。もちろん何が良くて悪いのかなんて言うつもりはありません。自分の子供の成長や発達を喜んだり、他の子供と我が子を比べて喜びを感じたり、反対に不安を感じたり、自分の子育てに自信が持てた時や反対に行き詰まって先が見えなくなったり、友人に相談に乗ってもらったり、グチを言い合ったり、しんどい時は子供とゆっくりお昼寝したり、子供の笑顔で元気になったり、年配の人に自分の育児の件で意見されて憤りを感じたり、病気でフラフラになりながら子供の相手をしていたり、泣いている子供を怒鳴ったり無視したり…これすべて育児です。そして親育ちの瞬間です。そしてその横には親を信頼している子供がいるんです。</p> <p>在宅ママの抱えてる悩みは思いのほか深刻です。私は育児とは悩んで当たり前と思えるまで二年かかりました。中には問題を抱えたままで、以前の私のように自分の中でだけでどんどん沈んでいく人も多いです。まじめで責任感のあるお母さん程、自分で解決しようとするので無理がたたって反動がきます。</p> <p>自分だけでは解決できない問題が育児にはたくさんあります。だって子供の身体の成長や心のあり方なんてまだまだ先の事だから。ママは可哀想なくらい毎日毎日一生懸命です。でも子供と正面から向き合っているから安心です。子供と向き合えなくなった時、そしてあるがままの子供の姿を見れなくなった時、子供はどう成長していくのでしょうか。</p> <p>子供って誰が育てるものなのでしょう？</p> <p>文京区の保育園の保育士さんはとても質の高い保育をなさると聞いています。ぜひ緊急一時保育ができる園を一園でも増やして下さい。親の利便性だけでいいものではありません。</p> <p>理由はどうであれ本当に困っているママを助けてあげてください。そして子供を救ってください。</p> <p>たまたまその日に一時預かりできた子供とそして親と本音で話してあげてください。プロの目で本質を見てあげてください。そして親の育つ力を引き出してあげてください。</p> <p>子供って誰が育てるものなのでしょう？</p> <p>ママが子供と気軽に行ける、安全で清潔で居心地のよい場所をいっぱいつくって下さい。子育てについて悩みや不安、喜びを語れる場をつくって下さい。</p> <p>子供が安心して遊べて、楽しめる場をつくって下さい。</p> <p>頑張るママはそんな場所があれば遠くでもお隣の区まで自転車で行くんです。なぜ隣の区にあって文京区にはそんなすばらしい施設がないんでしょう。</p>	メール

No.	質問・意見・要望	受付方法
39	<p>子供って誰が育てるものなのでしょう？おじいちゃん・おばあちゃん・保育園の先生・隣のおばさん・病院の先生・保健センターの保健士さん・飼っている猫・ママ友・パパの会社の人・今日道であったおじさん・犬の散歩をしている人・図書館の人・大好きなお友達・ちょっと苦手なお友達・八百屋のおばさん・児童館の方々・管理人さん…。日々いろんな人から息子は育てられています。どうか親が親としての育ちができる空間と場所をいっぱい提供してください。どうか親が子供の周りにいる人とコミュニケーションを取れる場を増やして下さい。親が子供と向き合い、そしてそれを見守る人たちと子育てに限らず本音でいろんな事を語り合えた時本当に良い意味での親育ちが実現されるのではないのでしょうか。そして育った子供は社会の財産となるのではないのでしょうか。最後に親の利便性について現在では子育てにおける親の利便性というのは必要不可欠な問題ではないのでしょうか。「利便性」にもいろいろな意味合いがあると思いますが、子育てを本当に頑張っているママたちにとってはとても大切なことです。どうか親の利便性を追求してください。それによって子育てに日々頑張っているママは救われますし、子供に目を向けずに自分の利便性だけを追及しているママを社会の中で見つけることができます。</p> <p>子供に温かいお弁当を食べさせたい。夏や冬に遠くの児童館まで自転車で行きたくない。自分がノロウイルスに襲われた時、子供のために緊急一時に預けたい。子供を緊急一時に預けてパチンコに行きたい。</p> <p>親の考える利便性は様々だと思います。子供の幸せに繋がる利便性とそうでない利便性。それは利便性を訴える親の考え方の問題です。どうか親の利便性を追及してあげてください。そして子供と向き合わないで、自分の利便性だけ考えている親を見つけたら、親育ちの観点から気づいた人が語りかければとよいと思います。例えば緊急一時保育で一人でもそんなママが見つけられたら、その親子を救えるのではないのでしょうか。</p>	メール
40	<p>いつもお世話になります。育児中の意見を言わせて頂ける場があるという事に、とても感謝いたします。ありがとうございます。</p> <p>私は、在宅で子育てとフリーランスの仕事をしておりませんが、両立の厳しさを感じています。</p> <p>出産してから、仕事を減らしたり、逆に（子供がいるという理由で）仕事を断られたりと、出産前の仕事の仕方では対応できず、仕事も育児も一から始めるといった感じですが、子育てがあるからこそ、仕事ができる喜びはとても大きいものになりました。</p> <p>しかし、夫は平日は深夜まで仕事をし、土日出勤も多く、両親は遠方なので協力は得られず、子育てと仕事を1人でこなすのですが、自分1人では体力的にも精神的にも限界を感じています。</p> <p>また、時間通りにできない子供に対して強く叱ってしまう事、テレビを見せつづけるなど、子供にとってもよくない状況になりがちです。仕事中は「子供を一時的にでも預かっていただけたら」と、保育施設等を探しますが、仕事が急に来たり変更になったりと変則的で、対応して頂ける施設を探すのに苦心しています。</p> <p>わがままな望みかもしれませんが、「柔軟に一時保育をしてくれる施設やサービスがあれば、どんなにいいか」と仕事の度に感じてしまいます。</p> <p>これだけ多くの会社が集中する文京区だからこそ、ここに住んでフリーランスで働く人は、私を含めたくさんいるのではないのでしょうか。子供を産んだからという理由で仕事ができないのは、これだけ仕事の間がある文京区に住んでいて、とても残念でなりません。育児は今一番大切な事ですが、自分の技能を生かし築いてきた仕事も失いたくありません。思い切り仕事ができないとしても、仕事につなげるための、何かできる事を（キャリアアップのための講座参加、資格取得など）育児中の今だからやってみたいと感じます。色々な状況にあった、子供を一時的に預かってもらえるシステムがあればどんなにいいかと感じます。もう一つの理由として、共稼ぎをしないと、生活が苦しいという経済状況もありますが、子供と一緒にいても働きたい母親への支援を、どうぞよろしくお願い致します。</p>	メール

■ Vision3 「親の就労・多様な働き方の支援」について

No.	質問・意見・要望	受付方法
1	ビジョン3の将来像の文章の中に「再び社会に参加できる道を開く」とある。子育てをしていると社会に参加していない、という文章になっているが、それはありえないと思う。子育てしていても社会に参加していると思うが、そういう議論があったのかどうか、非常に疑問。	説明会
2	働く妊婦・母親への支援をより充実させていただきたいです。	はがき
3	Ⅲ-1 ①育休中の看護師や保育士が、本格的に職場復帰する前のトレーニングとして、病児ルームや保育ママ、学童保育等への短時間パートとしての雇用はどうか。 ②たとえば、準保育士などの育成を区が行う。	はがき
4	親の就労・多様な生き方の支援 今の社会では、女性が男性と同じように働くと、子どもを誰がみるのか。10年後、将来像のようになると思えるといいが、変わると思えないのはなぜか。	はがき
5	vision3はとても大事だと思う。母親の孤立感や不安感といったものが一番強いのが未就園児の保護者だと思う。しかし、保育園や幼稚園に通わせていればその保護者は育児に対する悩みがないのか、子育ては困難でなくなったのかと言えばそうではないであろう。保育園にしる、幼稚園にしる、平日（中に週末も）は育児のほとんどを母親がみているといった状況が改善されなければ 母親の負担感といったものは減らないのではないか。たとえ将来的に保育園の数が増えて希望する人がみな入所できたとしても今の働き方が見直されなければ子育ての困難な状況はいつこうに改善されない。現在の長時間労働が是正され、女性も男性も家庭責任を果たせるような社会に変えていかなければ子育てしやすいまち、社会にはならない。 区単独では限界がある項目だが、子育て支援のためには絶対に欠かすことのできない項目であると思われる。 労働者が安心して働ける社会を作ることは、安心して子育てをできる社会だと思うのでその観点から以下の要求も入れていただければと思う。 ・短時間勤務制度のさらなる拡充。 ・短時間労働＝パートという位置づけをなくし、同一価値労働同一賃金の原則を徹底する。 ・これから子供を持つ人たちのために、不安定雇用者を減らす。	メール
6	職場の取り組みについて 時短や看護休暇などの制度ができていても取得しにくいのが現状です。職場の意識改革が必要であると思います。	はがき

■ Vision4 「保育機能の中核としての保育園」について

No.	質問・意見・要望	受付方法
1	<p>ビジョン4「保育機能の中核としての保育園」に、「保育園に入っていないと就労できない、就労していないと保育園に申し込めない、という悪循環を絶つ」、とあるが、そうなると幼稚園と保育園の差は何なのか、というところに議論がいくと思う。ビジョン策定検討委員会が始まる前の説明会でも、なぜ今回、幼稚園が議論の対象にならないのか、という質問があったと思うが、いよいよ幼稚園もある程度視野に入れていかないといけないのではないか。保育園に期待される機能がどんどん増えている一方で、文京区の公設の保育園は地域的な分布に偏りがあるし、人員面・施設面でもリソースに限りがある。その中で、これだけいろいろな機能を盛り込んでいくときに、保育園だけを対象としていって本当にできるのかが疑問。文京子ども園については、やはり中長期的な問題で時間がかかるだろうから、その間どうするかについて何らかのアイデアが示されないと、結局絵に描いた餅になってしまう。</p>	説明会
2	<p>文京区で育ち、子ども2人を育てた。その際、保育園には大変お世話になり、保育園が単なる預け業ではなく、親への支援も基本にしていることを実感した。私が子育てをした25年、30年前は、働いている親以外は入れなかったもので、逆にこういうサービスを働いている親だけが独占してよいのかと思った。保育のベテランである保育士に子どもの育て方について、子どもの毎日をみてもらいながらアドバイスしていただけたことはありがたかった。</p> <p>保育園を子育て支援の場とする発想は大変よいことだと思う。親たちも望んでいる。文京区は子育てがしやすい、教育環境がいいということで転入者も増えていると思うので、区のやっているよい試みを外に発信することで、区の人口も維持・発展できるのではないか。こういう方向はよいことだと思う。安ければいい、という発想で保育園を運営したために大混乱、という区もあることを知っているの、そこのところは維持してもらいたい。</p>	説明会
3	<p>利用者の視点に立ったサービスをすすめるなら、働く/働こうとしている母親の要望をもっと汲み取ってください。出産のため退職しなければならなかった人が、出産後就職しようとして一番困っているのは、就職してからでないと公立保育園に入れられないことです。そのため認可外に入れざるを得ないのです。働きはじめてから申請がやっとでき、次の4月から入園できればラッキーな方。預ける側にとって兄弟等がいた場合、同じ保育園でなければ預けられません。公務員は出産後、育児休暇をとるのは簡単ですが、私企業に勤める人は休暇後も働き続けられる保障はないのです。目標を掲げるのはけっこうですが、その前に現状を早くなんとかしてください。まず「申請すればすぐ保育園に入れられる」体制をつくって下さい！</p>	はがき
4	<p>希望すれば保育園に入園できる体制をめざす。早期実現を！！</p>	はがき
5	<p>保育園は入園する条件をゆるめるべきです。例えば、アルバイトの母親は、1日4時間しか働かないので子どもが入園できない。0～3歳の小さい子どもをもつ母親には厳しすぎる条件でした。母親の1日4時間のバイトでも、社会に大きな貢献です！これからの高齢化社会に欠かせない労働力です。主婦自身も社会に進出した方が子育てにプラスが多くて、孤立の防止にもなります。その上に、経済の面でも少し楽になります。</p>	はがき
6	<p>働き方が多様化したとはいえ、それがまっすぐ「認証保育所の増設」という要望につながっていないと考える。まずは区立保育園が増やされることであり、その保育園が様々な保育要求を受け入れる母体となった方がよい。職員は区職員であることも明記してほしい。</p>	はがき
7	<p>ビジョンに書かれていないので安心しましたが、他区などで行っている保育園の民間委託は絶対行わないでください。区が区立としてしっかり運営してください。お願いします。</p>	はがき

No.	質問・意見・要望	受付方法
8	<p>保育ビジョンに本来必要な大きな論点にまったく触れられていないことに違和感を覚えます。それは「区立保育園の民営化」です。</p> <p>「新行財政改革推進計画」において議論されてきたものですが、今回の委員会報告では「論点としてすら」記載されていないようです。たとえ一部の区民による反対があったとしても、文京区で保育ビジョンの議論をするときに「区立保育園の民営化」にまったく言及しないという態度は、行財政改革に対する区当局の決意を疑わせるものです。コスト意識のない委員会がまとめた、誰からも反対されない奇麗事だらけの「中間のまとめ」に多くの区民の支持が集まるはずはありません。是非とも、民営化についての前向きな記述を追加して頂きますよう期待しております。</p>	はがき
9	<p>保育園の質については、ぜひお金と労力をかけて保ち、維持向上させていく必要があると考えます。保育士さんの教育や、意欲の増進に努める、保育士さんの経験を生かすような人事的な制度も必要と考えます。</p> <p>保育を担当してくれる人への信頼がなくては、保育業は成り立ちません。ハード面のみならず、ソフトの面もぜひ重点を置いてほしいと、親の1人として希望します。効率や経済的効果も大切ですが、それで切り捨てられてしまう面についてあるのでは、と今後の方向について危惧しています。</p>	はがき
10	<p>どんなに立派なビジョンがあっても、それを受け入れる場（保育園）がなくては話になりません。子供が今いて働く事を諦めている人がどれだけいるか、現状の改善（待機児童、延長枠等）を早急に願う日々です。</p> <p>そして地域での子育てをビジョンとするならば、保育園として区切らず、育成室のない4年生の受入れを夕方5時以降にするなど広い視野で考慮すべきだと思います（園で5時頃までお迎えに来る人もいるので不可能ではないと考えます）。</p> <p>保育園、育成室に預けて、お迎えが2~3か所になったり、自宅に高学年の子が待つ親が悩んでいる現実をもっと知っていただきたくて書かせていただきました。将来の区の子育てが、よりよくなる事を願いながらも、それまで待てない私は来年退職する予定です。</p>	はがき
11	<p>保育料は値上げしないでください。税金や保険料が上がって大変です。</p>	はがき
12	<p>ビジョン4の4(2)、保育園のクラス人数を減らしゆとりを持たせるのは結構だと思いますが、その前に待機児童を解消するようお願いします。</p>	はがき
13	<p>保育ビジョン策定検討委員の皆様、中間のまとめの作成お疲れ様でした。「夢」が盛りだくさんで、本当にこの通りの将来像が実現したら素晴らしいと思いましたが、いくつか気がついた点について意見を述べさせていただきます。</p> <p>1. 「保育の質の維持向上」に関する項目を独立させてください。</p> <p>現状では「保育園の機能を高めるための方策」の中に散見されるのと、Vの「実現の推進に向けて」に指針の策定についての記述が見られます。Vにあるのはいいとしても、保育の質は、公立保育園に限らず、幼稚園、これから登場するであろう認定こども園、認証保育所などすべての施設において保たれるべき重要な項目です。すでに保育園に関しては、第三者評価のための国や都の「基準」が示されており、幼稚園にも自己評価の制度があり、また認定こども園も評価基準策定の動きがあると聞きます。こうしたものに準じてもいいし、あるいは文京区独自に、区ならではの保育の質の指標化、基準の明確化をまずは行うべきでしょう。そのうえで、自己評価、利用者アンケート、第三者の専門家による実地調査など、必ずしも現在ある第三者評価制度でなくても、できる範囲で現在の質を評価する。そして改善する。目標を立てる。次世代に継承する。そういうしくみを整える必要があると思います。ビジョンとしてどこかに「保育の質の維持向上」を高らかにうたっておく必要があると思いました。それは保育園だけに限ったことではないので、ビジョン4の保育園の項に入るものではないと思います。</p>	メール

No.	質問・意見・要望	受付方法
14	<p>2. 「第三者支援体制の構築」の項目の追加を 前記の保育の質にかかわりますが、すでに3年前と現在では、人員削減の影響で公立保育園の保育の質が低下しているとも言われています。応急処置的に導入された人材派遣保育士はどう評価されているのか。あるいは「柳町こどもの森」の保育の質はどうか。あるいは、保育士の入れ替わりが多いという公設民営園や認証保育所の保育はどうなっているのか。PCDAサイクルを促進するためのしくみが必要です。どのような支援体制が文京区として望ましいかを検討することも必要です。そしてそれは、公立保育園保護者と区のこれまでの協議の中での合意事項であったはずで、検討する場を設ける、という文言もどこかに入れてほしいです。</p>	メール
15	<p>3. その他、慎重に検討したい項目、になると思いますが、「既存の保育園・幼稚園の改革の必要が生じた場合、客観的事実に基づく明確な理念、目的を提示して利用者と協議の場を持ち、十分な合意形成のもとで進める」といった項目をたてていただきたいと思えます。</p> <p>区長はじめ現在の区の方々はお忘れになったようですが、区と公立保育園保護者が平成16年から約2年間、45回もの会合（通称「あり検」）を重ねたことはまぎれもない事実です。そこでは、客観的データに基づくシミュレーションで、民営化によるコスト削減効果はないこと、団塊の世代の保育士退職により、改革をしなくても今後20年、コストは右肩下がりの傾向にあること、むしろそれによる保育ノウハウの断絶が懸念されることがわかりました。横浜における保育園民営化に関する裁判では、行政側の主張する「多様なニーズにこたえる」は理由にならず、保護者との合意形成が十分にされない拙速な民営化は違法との判決が出ています。あり検で行った他自治体における民営化園の視察では、「成功」の鍵は保護者の合意と協力であることも明らかになりました。</p> <p>民営化は改革の一手法に過ぎません。今後、保育士の人数の削減、認定こども園の設置といった幼稚園の改革も、必ず課題にあがってくると思います。行政と利用者（区民）の協働は欠かせません。ぜひとも、ビジョンの中に盛り込んでいただきますよう、よろしくお願いします。</p> <p>以上長文となりましたが、ご参考にしていただけたら幸いです。よりよい「まとめ」になることを期待しております。</p>	メール
16	<p>vision4 保育機能の中核としての保育園 「保育園はすべての子どもたち、あらゆる子育て家庭にひらかれた保育拠点となります。」とあるが、幼稚園に通う子ども、家庭をどう取り込んでいくのか。ここに挙げられた方法では取り込みは困難と思う。</p> <p>また、子育て相談や緊急一時保育も何でもかんでも保育園へという流れにも危惧を感じる。これはそれに対応する人員、物的スペースがちゃんと補充されるということが大前提となると思う。個人的には、保育園にも一日、一週間、一ヶ月単位で保育の流れや行事があると思うので、一時保育所と通常の保育所は別にした方がよいのではないかと考える。狭い園舎で緊急一時の子のためのスペースも格段あるわけではないのにかなり無理がある事業だと思っている。</p> <p>区がすすめている保育園政策と全く相容れないと感じる vision4 であるが、安易な実現（認証保育所増設、公立保育園の民営化など）にならないよう望む。</p> <p>区立幼稚園での預かり保育の実施は検討されていないが可能性はないのか。</p>	メール

No.	質問・意見・要望	受付方法
17	<p>区立保育園・5歳児クラスに子どもを通わせている保護者です。先日、日頃はあまり会うことのない、他のクラスの保護者のかた数名と、保育について話をする機会がありました。その中に、二人目を生むことに対しての不安について話をされているお母さんがいたのですが、そのときの数名での結論は、「保育園の力を借りれば、二人目・三人目がいても大丈夫！」ということでした。子どもたちは、家の中では「一人」かもしれませんが、保育園では「大勢のお兄さん・お姉さん、弟・妹」に囲まれている大家族の一員なのです。自分よりも年上の子どもたちを見ていつかは自分もあんなふうになろうと憧れ、自分よりも年下の子どもたちには、自分がこれまでしてもらったように親切にしようと思う、そういう気持ちがわずか1歳児クラスの子どものにも生まれる、そういう素晴らしい教育が作為なくなされる場、それが今の保育園の果たしている「子どものため」の役割であると思います。保育園というと、いきおい親の就労支援という観点から語られがちですが、子どもの育ちにとって、これは大きな財産です。子どもの育ちを定量的に測定することは難しい(*)というのは分かりますが、効率優先でそういったことがないがしろにされることはないよう、今後も公立保育園を大事に守り、さらに、現状の保育士の欠員状態も元に戻してくださるよう、強くお願いしたいと思います。ひいては、「親の就労にかかわらず、誰であっても希望すれば保育園に入ることができる」というくらいの施策があってもよいと思います。そうなれば、さすが文教のまち文京区、ということにも繋がると思います。(*)子どもの育ちと保育園との関連性を追跡調査する試み等があってもよいと思います。</p>	メール
18	<p>「かごまち保育園」を利用させていただいています。「中間まとめ」を拝見し、文京区が乳幼児の保育に積極的に取り組んでいこうとされている姿勢が分かり、大変嬉しく思います。同時に、壮大な計画を練ることに時間をかけすぎることなく、現状改善が少しずつでも確実に進むことを切実に願っています。</p> <p>初めに書きましたように、かごまち保育園を利用させていただいておりますが、園を利用する保護者が何年間も区にお願いし続けていることがあります。①保育スペースの拡充、②小学校の校庭開放です。</p> <p>当然ご存知とは思いますが、ベネッセが運営する同保育園は、駕町小学校敷地内に併設されており、保育園自身の園庭はないという特徴を持っています。園の雰囲気はとてもよく、園長先生はじめ先生方には大変感謝しておりますが、上記①②の問題は是非とも改善をお願いしたい状況です。</p> <p>駕町小学校は各学年1クラスですので余剰教室もあろうかと思われませんが、再三の保育園保護者からのお願いの甲斐なく、園庭・体育館などは保育園側はほとんど利用できない状況です。</p> <p>区からの回答では、安全確保が難しいなどの理由を挙げられたとも聞きますが、校庭・体育館・音楽室などを年度始めの時間割編成の段階で保育園利用枠を割り当てていただくことはできないのでしょうか？例えば1学年3クラスある小学校でも時間割を組むことが可能であることを考えれば、決して難しいことではないとおもいます。やはり、全ては管轄官庁が違うということで進まない問題なののでしょうか。しかし、保護者としては、そのような理由では納得できるものではありませんし、今回の「中間まとめ」に掲げていただいた取組みが進むとも思えません。</p> <p>幼保小の連携した保育への取組みを本当にお考えいただいているのでしたら、是非先進事例として「かごまち保育園」「駕町小学校」の連携から示していただけたらと思います。私事ですが、長女を保育園に預け、家族のサポートを受けながら何とか育休前の仕事を続けることが出来ました。第2子出産後もできれば文京区に住み続け、仕事に復帰したいと考えていますが、正直、本当に両立していけるか不安を感じています。</p> <p>そんな時期にこの文京区保育ビジョンを知り、今後どうなるのかと楽しみにしております。そして何よりも、「計画」より1日も早い「実行」を願っています。かごまち保育園と小学校の連携の件、是非ご検討お願いいたします。</p>	メール

No.	質問・意見・要望	受付方法
19	<p>vision4 4.その他、長期的な視点から慎重に検討したい項目</p> <p>(1) 子どもが少なくなるこれから、保育園希望者が増え、幼稚園は存在意義がだんだんと減ってくると思う。親の就労、不就労で別々に預かる意義が無くなりつつあるのではないか。</p> <p>(2) クラスの人数を減らすというのはとても良い。海外の具体的な数字を載せて欲しい。その根拠も海外が「その基準だから」「感染症の予防になるから」というよりも1人1人の子どもの目が行き届き、よりよい保育ができるということを理由にして欲しい。現在の保育園の幼児クラスの人数は多すぎると思う。担任と園児1人1人と接する機会が少ないのでもっと時間が取れるよう1クラスの人数を減らす必要があると思う。</p>	メール
20	<p>現在の保育園の1クラスの人数を減らすのは、入園できている人たちが自分達だけじゃなければいいということでしょうか。保育園入園を待っている者のことも考えて欲しい。子どもを大切にすることは理解するが、入園を希望する者がたくさんいる状況で、とても現実的な提案には思えない。保育園に入れたい保護者の視点からぜひ、話し合ってもらいたい。また、民間企業では様々な工夫をして努力をしていることをもっと考え、効率的な運営をして、今の保育園でのサービスをもっと増やして、子育てに困っている人に対応していくべきだ。</p>	メール
21	<p>保育園は就労支援のための施設だが、家庭で育児をしている人たち（両親とも働いていない世帯）にも、子育てに関する支援をする施設であってほしい。孤独な子育てをせざるを得ない人たち（核家族で夫が仕事、妻が育児というようなケース。こういうところが実態としては多いと思う）への支援もする施設として、位置づけてほしい。</p>	メール
22	<p>近くに区立保育園がありますが、気軽に遊びに行ける雰囲気ではありません。通園している人たちには、いいのですが、同じに子育てをしていて、何か気軽に利用できるようなにはならないのでしょうか？文京区の保育園の質は高いと聞きます。通園していない子育てをする私たちにも、保育園のノウハウを提供してください。</p>	メール
23	<p>私は私立保育園を2か所経験してきた保育士です。このビジョン1の3-3で「区立保育園は、子どもたちがゆたかなに育ちあえる場を提供していきます」や「文京区の『財産』である区立保育園を維持・拡大し、次世代に継承していく」などとあり、それを受け、「公設公営保育園」を推奨していくというようなことが書かれていますが、文京区には、区立保育園だけでなく、私立保育園も存在します。私立保育園には私立保育園の良さがあり、臨機応変に対応できたり、色々な親のニーズに応えることが特徴でもあると私は考えます。私立の良さをもっとわかっていただきたいと思います。とてもすばらしいビジョンではありますが、ご再考願います。（私立＝社会福祉法人など）</p>	はがき
24	<p>保育園の必要な人員確保について 現状では不足を感じます。保育士はいつも忙しそうに相談したくてもできません。職員に余裕のない状態が続けば、将来的に安全面や育ちに不安を感じます。</p>	はがき
25	<p>保育園配置の地域的偏りをどのように是正するのか？ 現在、文京区の認可保育園の地域的分布には偏りがあるが、「待機児をなく」し、「通園距離への配慮」を行い、「きょうだい別の保育園に通わざるを得ない状況の解消」を目指すのであれば、細かくエリア分けを行った上で、現在の保育園に対する潜在的な需要を持つ家庭・児童の実数と、区内の大型開発なども踏まえた将来の需要予測を行い、保育園の適正配置をどのように実現するのか具体的に議論する必要がある。こうした議論は、今後、どのタイミングでどのような場で行われるのか？こうした情報は、どのように一般に公開されるのか？なお、平成16年3月の「文京区子育て支援に関するアンケート調査報告書」において、文京区を5つの地区に分割した情報は公開されているが、実際に通園する場合の日常的な負担を考えれば片道15分を超える通園時間は大きな負担となるため、もう少し細かいエリア設定を行ったうえで保育園の適正配置を考えるべきものと思われる。</p>	その他

No.	質問・意見・要望	受付方法
26	<p>Vision4の「2. 保育園の具体的役割」に掲げられた(3) 家庭・地域の子育てサポートの実施については、保育園に子供を通わず親としては、できれば保育園とは別の支援施設を設立して欲しいなあ、と思います。確かに、保育園には保育の専門家が常にいらっしゃり、また、園庭やおもちゃといった保育には欠かせないものが揃っているため、地域の子供をもつ方にとっては、頼りにしたい場所だと思います。ですが、果たして、常に正規の先生が欠員状態で運営している保育園で、そこまでやる余力があるのだろうか、とってしまいます。ただでさえ、厳しい状況の保育園に、地域サポートまで任せたとして、本来保育の必要な親が就労している我が子のような子達は、これまでどおりの手厚い保育を受けることができるのでしょうか？心配になってしまいます。できれば、地域サポートのための施設を新たに作っていただければ、と思います。区役所内にある、ピヨピヨ広場のような形がよいのではないのでしょうか？また、児童館にそのような機能を持たすことはできないのでしょうか？</p> <p>また、(4) 災害時の防災拠点には大賛成です。確かに、乳幼児を連れて学校で避難生活を送るよりは、保育園のほうが子供生活に向いていると思います。</p> <p>以上、簡単ですが、中間報告に意見を述べさせていただきました。最終報告を楽しみにしております。委員会の皆様、どうぞよろしくお願い致します。</p>	メール
27	<p>現在10ヶ月の子どもの母親です。来春から再び働きはじめる予定です(保母です)。非常勤(フルタイムでない)の為に、区の認可園に入るのは難しいと区役所の担当の方に言われました。自分は認可園で働きながら、子どもは無認可なんて切ないです。区の保育園に入れるのは、選ばれたごく一部の方だけです。毎年のように保育園は増えていますが、現状に満足しないで欲しいです。質はもちろん大切ですが、それを利用する人が少数では意味がありません。</p>	はがき
28	<p>保育園の機能を高めるという所で、区有施設の余裕教室や校庭などを使えるようにというのがありました。長女が入園当時、運動会はホールで行うため年長さんは限られた演技しかできませんでしたが、汐見小の校庭をお借りできるようになり、本当に有難く思いました。進級お祝い会は相変わらず参観の父兄でいっぱいになります。のびのびした子供を育てるためにも、空いているスペースをたまの行事の時に使わせてもらえると助かると思います。</p>	メール
29	<p>ビジョン4に関わる問題として、認証保育への補助金の充実をあげます。現在の多様な働き方のニーズに答えているのは認可保育園ではなく認証保育所です。しかし認証保育は土地を所有せず補助金も少ないため、高額な保育料を払うこととなります。保育の質は認可保育園や幼稚園よりも勝るものであります。これら2つとの補助金の格差を縮小化していくべきです。</p> <p>保育ビジョンが掲げているように、文京区が子育てで支援と親の就労支援等で真に先駆的な試みを内外にアピールするならば、是非とも実現してゆくよう切に願います。</p>	はがき
30	<p>「公設公営保育園の維持」とありますが、「文京区全ての保育園の維持」に変更を希望します。私立保育園、認証保育園についても「子育ての拠点として機能する保育園として、よりいっそう大事に維持していく」との一文を加えてください。文京区の全ての子ども達に目を向けてください。</p>	メール
31	<p>保育料が聖域ということですが、誰が決めたのですか。保育の充実を掲げるのであれば、1人あたり、現状いくらの経費がかかり、負担額はどのくらいを示してほしい。また、それが保育の充実によりどう経費が増えるのかを示してほしい。民営化をせず、保育の質を維持するのであれば、保育料を上げるべきです。受益者負担の原則は、保育でも例外とすべきではないと考えます。一方で保育に頼らず子育てをしている世帯は多く、日本の雇用環境からは、その世帯の生涯収入は、継続して働く世帯とは大きな格差があるのが現実であり、生涯収入の視点から保育を利用する世帯と利用しない世帯とのバランスを考慮し、保育料の負担額を検討すべきと考えます。</p>	はがき
32	<p>「公設公営保育園の維持」は絶対にそうして欲しいです。</p> <p>文京区以外の保育園や区内の認証保育園を利用したこともあり、文京区の公設公営保育園を8年近く利用してきて、十分に良さを実感しています。</p>	メール

No.	質問・意見・要望	受付方法
32	<p>数年前から民営化するという話も出てきていましたが、何のためにするのか、することによってどういう影響が出てくるのかを十分に検討していただきたいです。</p> <p>また、現在の保育士の定員割れの早期解決をよろしくお願いします。</p> <p>2階建て要員の撤廃による保育士削減以降、目に見えて、先生方の忙しさが増えています。朝夕は特に正規職員より非常勤職員が圧倒的に多く、話をしたくても、忙しそうで声をかけていいものかとためらってしまいます。</p>	メール
33	<p>先日2/23の傍聴も致しました。極めて遺憾な最終報告への流れの為、区民として以下のとおり意見を提出致したく存じます。</p> <p>1. 待機児童数について</p> <p>添付資料にあった待機児童は基本的に「断られても必要性が高く待ち行列に並ぶ緊急性の高い要請」の数です。表どおりに読んでも保育を受ける権利を得られない待機児童が3割居る現状がああビジョンまとめでは区長に届かないと思います。</p> <p>区役所窓口行政手順では、待機しても意味のない（保育を受けられる可能性が低い）場合は待機待ちさせていません。従ってその現状を基準に考慮すれば、半数以上の保護者が不満に思っている状況で、「美しい日本」ならぬ美しい「夢の文京区政」を繰り広げる事自体が行政への信頼を失わせます。ああビジョンのままでは、住民と区政の乖離はさらに大きくなります。本来の緊急保育も用意できず、ああ認識のままですら進められるなら、文京区で「赤ちゃんポスト」を設置したほうが良いと思います。</p> <p>2. 税収基本の姿勢</p> <p>出産者がたとえニートであれ脱税者であれ、子は親を選ぶ事はできません。そして、子には人権があります。本来受けられる保育が十分でない場合、将来の納税者（子）は区政のみならずすべての行政に対して大きく失望すると思います。何卒、論ずる相手の気持ちを考えてみてください（母親のみではありません）。また、行政に救い（保育）を求めに来た区民で「待機」と言われる時点で、そして、言葉を信じて「緊急保育」を受けようとして「事前登録」にぶつかった場合、著しく行政への不信が高まります。言葉遊び・単語による偽装でしかない「緊急保育の提供」だの「十分でない保育所」の現状を現区長や新着任区長に報告するのが御委員会の勤めであると最後の信頼を致しております。</p> <p>生と死は人間の意図通り予定できないものです。焼き場は冷凍して待機させる事があるうとも予測できない「生」に対する保育の提供は行政の最低要件です。十分な保育が提供できない自治体（待機児童が居る時点）が語るどのような美しいビジョンも区民には逆効果だと意見させて戴きます。</p> <p>また上述のとおり、実質の伴わない緊急保育（擬政）も区長の意図したいものとは思いません。委員会のメンバーの皆様が、事実・実態を報告しない限り悪循環が進行すると考えています。皆様の本当の保育の理念が「政」に反映されます事を期待しております。</p>	メール

■ 第V「保育ビジョンの推進に向けて」について

No.	質問・意見・要望	受付方法
1	<p>「保育ビジョンの推進にあたって、具体的な検討を行う場合は、区民参画により検討を進めてゆく」とありますが、「具体的な検討を行う場合は」と書いてあるということは、今すぐ具体的な検討は行わず、今後このビジョンのうちの何かを検討する場合に限って区民参画が実現されるということですか？実際に区民参加の下で実現されるはずのビジョンが、なんだか最後のところで骨抜きにされているような気がしてなりません。</p>	メール
2	<p>子育て予算の増額は、国にこそ要求していくことではないでしょうか？文京区の高齢者がいきいき健康で暮らすためにも、予算を使ってほしい。子どもにたくさん配分するというのは納得できません。寿会館のおフロをなくすなど高齢者も少ない予算の中でガマンしていることをわかって欲しい。予算の適正配分というが、子どもに予算をたくさん使えということにしか読み取れません。高齢者も大切にしてほしいです。</p>	はがき

No.	質問・意見・要望	受付方法
3	保育ビジョンの推進にあたっての「具体的検討」とは何を指すのか？ 保育ビジョンの推進にあたっての「具体的検討」とは何を指すのか？今回の保育ビジョンは、「就学前の子どもに係る分野の基本理念・基本目標を示し、文京区地域福祉計画（「文の京」ハートフルプラン）及び文京区子育て支援計画（文京区次世代育成支援行動計画）の具体化及び計画の見直しの際の基本指針」とされており、子育てに関する様々な事柄が議論されている。言うまでもなく現在でも文京区において子育て支援に関する行政が形で行われているのであるから、この保育ビジョンの具体化は現在進行中の事柄のはず。どのような形態で、区民参画により検討を進めるのか、今すぐ具体的な枠組みを決定する必要があるのではないかと懸念される。これを文理的に読めば「具体的な検討を行わない場合もありえる」とも読める点が懸念される。前述の通り、この保育ビジョンの具体化は現在進行中の事柄であり、具体的な検討を行わない場合、というのはいり得ない。また、保育ビジョンが実現されるのかを継続的にモニタリングできる枠組みを確保することが、保育ビジョンの実現に必須と思われるので、保育ビジョンの策定と同時にその実現の具体的な枠組みが決定されることを期待する。	その他
4	「保育の質に関する指針の策定」の進め方 どのように策定するのか、具体的な提示が期待される。現時点で具体案はあるのか？	その他
5	「保育ビジョンの見直し」の具体的な手続きは？ 保育ビジョンが将来において見直される場合も、今回の保育ビジョン策定検討委員会と同様の審議を経て、見直されるのか？	その他

■ 区報・区民説明会・パブリックコメントについて

No.	質問・意見・要望	受付方法
1	区民説明会の流れとして、区民側の意見を区が聞き、それを委員会の委員に伝えるという段取りになっているが、委員の方と区民が直接話すことができれば、話が早いのでは。より密度の濃い話し合いができるのではないかと思います。	説明会
2	今日の説明会で、事務局としてできること、委員でないから答えられないことが強調されていることに違和感を感じる。それでは伝言ゲームになってしまうし、通常このような報告書の文章は事務局がつくるのであるが、事務局がつくるプロセスと座長にオーソライズして連携して進めていくプロセスがどのくらい真面目だったかが見えにくくなってしまふ。	説明会
3	説明会はシビックばかりでなく、もっと全区的に行ってください。遠いに行かれませんか。お願いします。	はがき
4	区報の配付について この区報のみ、なぜ新聞折込みなのか説明する事。新聞の契約者のみ配付されるのは疑問だ。その他の家には報じる必要がないという事か。	はがき
5	パブリックコメントとして意見募集をするという話が委員会の場で事務局からもあったのを聞いた覚えがありますが、パブリックコメントで寄せられた意見には公開資料の上で個別の回答がされるのが常識だと思いますがいかがですか？	メール
6	もう少し説明会の回数を増やして欲しい。説明会の目的は何なのか、ただ説明会を開いたという既成事実を残すだけなのか。3月までに本ビジョンを形式のみでもいいからまとめることしか意識しておらず、何が最大のゴールなのかまったく無視しているような気がする。内容を是非重視して欲しいので、引続き検討委員会を続行して欲しい。	メール
7	意見の書込みフレームが小さすぎて記入しづらいので大きくしてください	メール

No.	質問・意見・要望	受付方法
8	説明会の意味がわかりません。何で事務的なのですか。もっとビジョン作成に対して前向きにしてほしい。例えば、事務局で説明できない部分は、委員会の方から説明できるように用意していただければよかったですのではないですか。	意見シート
9	2か月の乳児を持つ母です。本日は報告を聞かせて頂き、どうもありがとうございました。区報の記事、「中間のまとめ」もそうなのですが、全体的にわかりにくいです。「わかりにくさ」＝「とっつきにくさ」があげられ、今回の説明会の参加者の人数のように、利用者の声を集めることが難しいのではないのでしょうか？ 「区民の声を聞きたい」とのことですが、いったいどのような声が聞きたいのかもわかりません。区・事務局がどのような声を求めているのか、また、他の区民がどのような意見を出しているのかがわかれば、区民も声をあげやすいと思います（たとえばアイデアを求めているのか、要望を求めているのか、苦情を求めているのか）。	意見シート
10	本パブリックコメントの取り扱いについて 区報においては「お寄せいただいた意見は、整理したうえで、個人情報を除き公開します。」となっているが、想定されているのはどのような「整理」か？また、保育ビジョン策定検討委員会の議事録などを読むに、今回の意見聴取は「パブリックコメント」として行われたものと考えられるが、一方で文京区ホームページ上の「文京区保育ビジョン策定検討委員会報告中間のまとめについてのご意見」のページに「個別の回答はいたしません」とあるのは大いに疑問。パブリックコメントに寄せられた意見は公序良俗に反するものでない限り全て公開され、それに対して何らかの回答が為されるべきであり、意見聴取から回答までのプロセスに意見を聴取した側の忖度性が介在するのは不適切。また、今回は、議論されているトピックそのものが多岐にわたりかつ相互に関連するものであり、加えて、自由記述で意見が聴取されているため、寄せられた意見を今回の保育ビジョンの構成に合わせて分類することすら難しいはず。似たような意見が重複することも当然想定されるが、そうした場合は、「～については意見X番に対する回答をご参照ください」などとすれば、意見を整理せずとも回答内容の整理は可能と思われる。	その他
11	区民説明会に参加しましたが、回数も少なく、告知からも日が浅かったためか、参加者も少なく、区民への周知不足を感じました。 説明会で、メールやはがきでも意見が届いているので、十分に意見は集まるようなことを事務局の方はおっしゃっていましたが、委員会としても同じ意見なのではないでしょうか。	メール

■ その他

No.	質問・意見・要望	受付方法
1	3人子どもがいると子育てに追われてしまい、なかなかこういうところに来る機会もなかったが、昨日の第1回の説明会では、あまり幼稚園のお母さん方が来ていなかったという話を聞いた。娘の幼馴染のお母さん方から、幼稚園の集まりで煙山さんが来た新年会があったという話を聞き、煙山さんは保育園には関心をもっていないのに、私立・公立幼稚園のお母さん、役員の方々には甘いのかなとも感じた。 親としていい保育ができるよう望んでいるので、子どもたちのためにいいビジョンをつくってほしい。	説明会
2	認証保育について。委員会を傍聴しているが、発言した方は認証保育を望んでいるといった訳ではなく、民営でもいいので良質な保育園を増やすべき、という発言をしていたと思うので、事実を確認してほしい。	説明会
3	0・1・2歳で保育園に通っていない家庭にどのような支援をするかが大きな課題、ということであるが、その方々の意見を聞くためには、幼稚園に行かれている方に0・1・2歳の頃はどうかを聞くのが、普通のストーリーではないかと思う。	説明会

No.	質問・意見・要望	受付方法
4	<p>密室育児をしている。家で絵を描く仕事をどうしても続けたくて、育児をしながら家でもできるのではと言われたが、実際に出産をしてみると、まったくできる状況ではなかった。親を呼び寄せることをせずに、家で何とか仕事を続けることができないか、自分なりにいろいろ試してみたが、現実にはうまくいっている状況ではない。フリーで絵を描く仕事は、いったん仕事が途絶えると、次の仕事が来なくなる現実があり、なるべく少しでも仕事をして実績を残したい、という気持ちだけで今はやっている。仕事はどんどん減り、このまま今まで自分がやってきたことがなくなってしまうのではないかという不安がある。仕事がいつくるかわからない場合でも、子どもを預けられるところがないか考えているが、結局すごく難しく、無理なんじゃないかと思っている。保育所に申し込み、ファミリーサポートにも申し込んでいる。不安はあるが、それでもチャレンジして、何年か先でも、復帰したときに仕事を続けていけるんじゃないかという夢をもちながら子育てをしている。</p>	説明会
5	<p>子どもとの時間が長いので、外でどのようなことが起こっているか、実際、よくわかっていない。社会の中で子育てをしようという感覚が、ビジョンを読んで逆にすごく新鮮に感じた。どのように社会と関わっていけばいいのか、社会にお世話になったらいいのか、自分以外の密室で子育てしているお母さん方も思っていると思う。児童館では、みんなが一時保育やファミリーサポートなどの噂をしているが、実際に、上手に試したり、上手に使っている、という声は実はあまり聞いたことがない。上手に使っている人はいるのかな、という感じ。</p>	説明会
6	<p>世田谷区の小学校では、放課後に事前申し込みも費用の負担もなく、毎日17時まで学校で遊べる「ポップ」というシステムがあるそうです。文京区でも是非同様のシステムを早急に開始していただきたいです。</p>	はがき
7	<p>保育園卒園後の支援事業として、また地域の保育機能として、児童館と育成室は重要な位置を占めている。この点についても一節を設けて言及し「ビジョン」を示すべき。その場合には、小学校校内での育成事業の展開と、6年生までに対応した育成室機能の強化を盛り込んでほしい。</p>	はがき
8	<p>厚労省から支給されていた母子家庭に対する援助金が段階を経て削られるが、そのような国の政策のケアなども自治体で取り組んで欲しい。</p>	メール
9	<p>学童保育も、保育園同様、時間延長を検討していただきたい。</p>	メール

3. 事務局に対する質問及び質問に対する事務局回答 <区民説明会>

No.	質問	事務局回答
1	区報ぶんきょうには、意見を2月16日までにお寄せくださいとあるが、2月1日に意見をとりまとめるというのはどういうことか。詳しいスケジュールが決まっていたら教えてほしい。	次回の委員会が2月1日開催なので、1月中に出された意見については、そこで報告する。それ以降に出た意見については、随時とりまとめの期間を定め、最終のまとめに反映できるように、委員に報告する。 最終のまとめは3月中に作成の予定であり、日程は調整中。
2	1月のいつまでに意見を出すと、2月1日に開催される策定委員会で反映されるのか。	資料を委員に事前送付する期間を考えると、1月25日くらいが一定の目安と考える。
3	中間報告のまとめの文章に、会長の名前がどこにも書いていないが何故か。	区報特集号では冒頭示している。最終のまとめで明記したい。
4	率直に、まとめのレベルが低くて非常に不満なのだが、会長とのやり取りの中で、このレベルで出していという議論があったのかどうか。この内容で会長はオーソライズしているのか。	会長のお考えは、中間のまとめの時点ではワーキングで出した意見をできる限り生かす、ということであった。4つのグループでまとめた中間のまとめを元に、区民の意見を反映し、最終のまとめにしていこう、と提案を受けている。
5	中間のまとめの公表が12月25日で、区民説明会は4回開催されるが、すべて周知から1か月以内である。子どもを2人保育園に預けていて小学生もおり、保育室は就学前しか利用できないとなると、今日しか時間がとれなかった。今日のことも気が付いたのが先週で、調整してやっときた。日程もすごく少ないと思うし、内容も保育園だけでなく、区民全体の保育に関わることで、すべての保育園・幼稚園で説明会をするような内容ではないかと感じている。このような日程を設定した理由を教えてください。	日程については、年末年始をはさんだため、1月初めを避けて落ち着いたところで、ということで、14～16日に設定をした。遅くなると委員への情報提供が遅れてしまうため、この時期に設定した。説明会の回数が少ないことについては、ホームページ等でも内容を公表し、メールやファックス、ハガキ等で意見を募集していく。
6	ビジョンは「文京区地域福祉計画、文京区子育て支援計画の具体化及び計画見直しの際の基本指針」となっている。ビジョンに対して、戦術・戦略として、現状がどうなっていて、目標はこうで、達成可能性はどうか、問題点は何かあって、最低限何ができるか、いつまでにやるのか、予算はどうするかという、具体的なプランまで落とし込んでいかないと、漠然としていて、指針としても活用の仕様がないうと思う。そのようなことを3月までにしようとしているのか。 22頁「保育ビジョン実現の推進に向けて」に予算措置の確保・予算の適正配分、とあるが、ここは、具体的に実現への道筋を明らかにしてほしい。それがなされないのに3月にビジョンが策定されると、指針としても使いようがないと思う。	文京区では、基本構想の実施計画が、唯一、予算を伴った計画として策定されている。ビジョンは計画の指針となるもので、プラン、実施計画をどうするかということについては、計画で策定する、という仕分けになると考えている。ビジョンは、計画を方向づけて、区民の方と共通理解に立つ、という性格のものとしてご検討をいただいていると考えている。

No.	質問	事務局回答
7	<p>そもそも委員のメンバーに幼稚園の関係者が入っていない。結果的に保育園に対する過大な責務が負わされていると思うが、幼稚園については何も言及されていない。ビジョンは、就学前のすべての子どもに関わるものであるし、幼稚園もすばらしいところがたくさんあるので、幼稚園に関して何も議論されていないのは不十分だと思う。バランスを欠いているので、最初から考え直すべきではないか。</p>	<p>公募委員にはお子さんを幼稚園に通わせている方々があり、そこで意見をいただけるということでメンバー選定をしたところもある。幼稚園の責務については、最終のまとめの中で検討していきたい。</p>
8	<p>幼稚園関係者は、委員選定の段階から入っていなかったと思う。それはなぜか。</p>	<p>0・1・2歳児の保護者の負担感は切実なものがあり、そこへの支援のあり方や、保育の中心を担う保育園のあり方、という部分では、幼稚園とも連携は必要であるが、という認識であった。幼稚園の機能も変わりつつあり、果たすべき役割も高まっているという認識はもっている。</p>
9	<p>区が委員会の事務局として説明するときに、委員会の意見を代弁できることが十分に可能である立場として住民に対応していくのか、それとも事務局はあくまで事務局であって、今日の説明会のようにできる範囲で説明する、あるいは委員に伝えるだけのつもりなのか。今後文京区はどちらの説明を続けていくのか、区としての統一見解を伺う。</p>	<p>区としての統一見解は私が答弁するところではない。保育ビジョンについては、区民の方のワーキングを中心に検討がなされ、そこに事務局が入って意見をとりまとめているという位置づけである。今回の説明会では、このような性格の中で、事務局がきちんと皆さんの意見をうかがい、委員会に報告をする、という位置づけを明確にした方がよいだろう、と考えているところ。最終のまとめをどのような形で示すかは今後の課題と考えている。</p>
10	<p>パブリックコメントはどのような形で区民に開示されて、まとめられるのか。最終のまとめに添付された形になるのか、提出されたパブリックコメントがいつでも検索できるような形で、ホームページなりで公開されるのか。その扱いを教えてください。今回、1月末、その後2月16日までと2段階で扱うという話があったので、その扱いが区別されることなく最終のまとめに反映されるかが不安。</p>	<p>説明会等で区民の方々からいただいたご意見については、個人情報を除いて委員会へ全て報告する。その後、ホームページや公共施設に配備するなどして公開する形を考えている。時期によって意見の扱いを区別することは無い。最終的な報告書にどのような形で添付をするのかについては、今後検討する。</p>
11	<p>23頁の最後、保育ビジョンの見直しのところで、「適宜改訂して時代の変化に即応できるように」とあるが、適宜改訂していくときに、区だけで改訂していくのか、またこういう委員会を立ち上げて改訂していくのか、教えてください。ビジョンの策定検討にあたっては、できるかできないかわからないけど夢を語ってください、ということであったが、全部ができるとは思っていないが、できる部分に関しては、ピックアップされたものが出てくるのか、それとも区民にはわからず、区の方だけで進めていくのか。</p>	<p>ビジョンに限らず、区は区民参画を進めてきているし、今後も進めていくことが基本となるので、区の独断で何かを進めることはない。</p>

No.	質問	事務局回答
12	私は子どもを保育園に通わせているので、保育というと保育園をイメージするが、この内容は、保育園に通っている子どもだけでなく、就学前児童のことについてとなっている。しかし、委員の構成をみると保育園の関係者が偏っていて、幼稚園の先生や児童相談所の方も入っていない。ビジョンの構成をみても、3や4はいわゆる保育園の親や子どもを中心に据えた内容にみえる。対象や検討内容、委員構成、すべてがアンバランスな気がする。	委員構成は、各種団体については保育園に限らず、幅広い視点で団体推薦をお願いしているし、公募委員については保育園にお子さんを預けている方は対象外にした。事務局サイドとしては保育園関係者に偏った人選という認識は持っていない。DV、児童虐待等については、関連部署の意見を聞くことが十分可能と考えているし、公募委員でお子さんを幼稚園に預けていらっしゃる方もいる。
13	今後保育ビジョンの具体化をどのように進めていくのか。22頁に「保育ビジョンの推進にあたって、具体的な検討を行う場合は、区民参画により検討をすすめていく」とあるが、この文章は非常に幅の広い意味がある。ビジョンができた後、違うことが起きた場合は、その時々に応じて検討するという意味にとれる一方、保育ビジョンが地域福祉計画や子育て支援計画の具体化を図る際の基本指針という位置づけがされている以上、子育て支援行政が日常的に行われているのであれば、今日この日も保育ビジョンを実現しているとも解釈できる。ビジョンの具体化の音頭をとるのは保育課が中心となると思うので、現時点で想定されている具体的な検討を行う場合というのはどういう場合なのか、どういう形で区民参画を行うことが想定されるのかを教えてください。	保育行政は現在進行中であるので、どのような形で事業に力を入れていくべきなのか、保育行政を担う我々が真摯に受け止めて施策をつくっていく、もしくは計画にない事業についても、予算要求に反映させていくことが、大事な姿勢になると認識している。検討を行う場合どのような形で、ということについては、これまでの区民参画の手法を踏まえ、区民の皆さんに納得いただける形での進め方をしていきたい。
14	パブリックコメントの取り扱いについて。募集された意見は、公序良俗に反するものを除き、原則的には公開され、それに対して個別に回答がなされる、という通常のパブリックコメント的な取り扱いになると理解してよいか。	個人情報を除いてすべて委員に示すので、委員会資料として、ホームページや公共施設への配備により公表する。保育ビジョンは策定検討委員会がまとめたものに対して区民意見を募集し、それをもとに最終のまとめを検討するという位置づけになっているので、個々の提案・意見に対してコメントを付すという形にはならないと考えている。
15	保育ビジョンは、どのように委員会ができて、検討が始まったのか。	24頁の要綱のとおり、文京区の保育行政全般に係る指針となる文京区保育ビジョンに規定する内容を検討するため。なぜ今、保育ビジョンなのか、ということだが、例えばいわゆる密室育児などにより子育ての負担感が高まっていることや、子育て支援の充実が掲げている重点施策の1つであるとともに、この5年間は少子化対策に重点的に取り組むべき、というのが全国的にも共通認識ともなっているため、改めて小学校入学前の一番子育てにとって重要といわれている時期に、どのような支援を行っていくのかの指針をビジョンとして策定しよう、というところ。

No.	質問	事務局回答
16	<p>ビジョン1は、子どもの視点に立って子どもの育ちを保障するという内容で、18頁は親の就労支援のための役割として、都市型保育需要に対応する、とあり、これは親の都合。4つのグループで検討したということだが、視点がばらばら。これが、保育行政全般に係る指針となるものなのか、非常に疑問がある。4つのグループにわかれて検討した結果というのはわかるが、それをとりまとめる必要があるのではないか。</p> <p>文京区が子育てをいったいどういうふうにしているのか。まちはこう、子どもにとってはこう、親の支援はこう、企業にとってはこう、とばらばらに出てくるだけで、全体を通して、いったい子どもをどう育てていくまちにしていこうとしているのか、その一番大事なところが抜けている気がする。そういう意味でまだまだ検討する必要があると思うが、どうしても3月までにまとめをする必要があるのか。</p>	<p>中間のまとめに対しては、こういった視点で検討をしたらどうか、こういった内容をいれたらどうか、というご提案をいただければと思う。</p> <p>3月までというのは、委員会の中でオーソライズされている。中間のまとめは委員の皆さんに時間がない中で大変な作業を担っていただきまとめていただいたもの。まとまっていない部分については、今後検討・整理をしていければと考えている。</p>
17	<p>区長は中間のまとめに目を通してしているのか。</p>	<p>庁議で中間のまとめを区長に報告しており、目を通してしている。今後区民の皆さんの意見をもとに最終のまとめをするということであるので、ひとつひとつのことに対しては意見はいただいていない。</p>
18	<p>・2頁の(3)「就労支援の必要性」で、認証保育所の増設を望む人が増えている、とあるが、個人的には、認証保育所と認可保育園の違いをわかっている親が、認証保育所の増設を求めることはありえないと思う。委員会もほとんど傍聴したが、認証保育所を増設してほしいという声は一切聞いた記憶はない。この記述はどこから、どのようにして、どなたがおっしゃって、どなたが記述したのか。</p>	<p>中間のまとめは、4つのワーキンググループでの検討内容を事務局が整理し、まとめている。2頁は会長、副会長を含めて事務局が作成し、委員の皆さんにご確認いただいたもの。事務局が整理している段階で、この文言を入れたということになる。委員ひとりひとりがこの文言を認めているかどうかは、確認をしていないが、事務局として、中間のまとめについて了解をいただく手続きはとっている。</p> <p>今のご意見は、策定検討委員会にあげて検討していきたい。</p>
19	<p>対象が就学前の子どもとなっていながら、子どもビジョン、子育てビジョンというタイトルにならなかったのはなぜか。</p>	<p>子どもというと一般的には18歳までであり、就学後の放課後の問題、居場所づくりの問題も含め、幅広くなってしまう。また、子育ては就学前の時期は非常に大事といわれており、就学前の子どもの健やかな成長を考えていこう、ということ。幼稚園にも保育園にも行っていない保護者が子育てにとっても不安・負担感を持っているということで、そうした方々に、保育の視点からの支援を掲げることが大事、ということで就学前の子どもを対象にすることで、保育ビジョンとした。</p>
20	<p>就学前の子どもが使う公共施設として、児童館、幼稚園などある中で、保育園が中核として定義されたのはなぜか、説明してほしい。</p>	<p>委員会での議論で、幼稚園は3～5歳の子どもに教育的な役割を果たすところで、0～2歳児への支援は難しいという話もあり、保育所が中核機能を果たすことが大事だという議論があった。また、保育については大きな柱の1つであり、保育の機能の充実・拡大という視点で検討いただいた、ということもある。</p>

No.	質問	事務局回答
21	<p>中間のまとめ特集号は新聞折り込みで案内をいただいたということだが、学校の将来ビジョンのときは、折り込みでなかったように記憶している。区の中で、配達の方法に違いがあったのはなぜか。</p>	<p>区報は10日と25日発行の通常号は町会に委託して配布している。特集号の場合は、新聞折り込みで配布する形になっている。教育ビジョンも新聞折り込みで配布した。</p> <p>区内施設にも配備はしているが、最近、新聞をとっていない家庭も増えているということで、今後は、区民の皆さんすべての手元に届くようなあり方を徹底していきたい。</p>
22	<p>保育ビジョンの取り上げている内容が広すぎる。親の就労のことや公園のことは、保育のあり方からずれているという気がする。もう少し具体的に、子育てに関して掘り下げて検討したのかと期待していた。これに関して意見を、といわれても、何の意見をどう言っているのかかわからない。区の中で、特に何を優先的に、という優先順位、目標があれば教えてほしい。</p>	<p>委員会では、現実的に子育てをする中で必要な施策やニーズからの議論が多かったことから、こうした内容とした。区民の皆さんからの意見を踏まえて、どういう形で大きな目標にしていくか、今後取り組んでいく必要があると思う。</p>
23	<p>3月末までにとりまとめをすることは、時間的に可能なのか。</p>	<p>委員会でも日程についての議論はあったが、3月までということ委員の合意を得ているので、3月の最終的なとりまとめに向けて努力していきたい。</p>
24	<p>今日の説明会に、事務局以外に、会長、副会長、区職員である大角部長以外の委員がいらっやっていないのは、どのような理由からなのか。</p>	<p>事務局の立場から、区報特集号と同じ位置づけで、こうした説明会を開催して、ご意見をうかがっていく形で設定をしたものである。今回は、中間のまとめに対して広く区民の意見を募集し、最終的なものを検討するというのが、会長、副会長の意向でもあり、こういった説明会を事務局として開催した、ということである。</p>
25	<p>この報告を4月までにまとめるということで、4月から何かしらのことを実行していくことも含んでいると解釈したいと望んでいるが、ビジョンに対する予算はどのくらい含む予定なのか、今後公表するところがあるのか、教えてほしい。</p>	<p>ビジョンは保育に対する指針、ということで検討いただいているものであり、保育ビジョンの予算という形では明確には定まっていない。但し、どのような施策に力を入れていくのかという方向性を示すものであるもので、計画にない事業でも実施が必要な場合は、年度ごとの予算の中で予算要求をし、議会で審議していただき、実施をしていく形になると考えている。ビジョンは、こういった施策を実行するのか、ということに対して、方向付けをするもののご理解いただければと思う。</p>
26	<p>22頁の1「具体的な検討を行う場合は、区民参画によりすすめていく」とあるが、具体的な検討とは、例えばどういうことなのか。区民参画とは、具体的にどのような形で区民が参画するのか。</p>	<p>具体的な検討の内容については、これからの議論を待ちたい。</p> <p>区民参画の仕方については、画一的な形態はない。区民の方のご意見を何らかの形で取り込んでいくために、これまでも区民との協働で区政運営をすることを基本に掲げている。公募委員を募るなど、その都度相応しい区民参画の手法を取り入れて、検討する形になると思う。</p>
27	<p>中間のまとめということで全体的に詰めきれていないのと思うが、整合性がとれていないところがある。その部分に関して、2か月の期間でまとめることができるのかという疑問がある。</p>	<p>整合性をどのようにとったらよいか、といったご意見をいただければと思う。</p>

No.	質問	事務局回答
28	指針としての位置づけがよくわからない。ビジョンの内容を読むと、具体的な項目まで提案としてあげられている。これは、何か施策を提案するものなのか。それとも子育て支援計画等の計画の優先順位付けをしていくものになるのか。	施策レベルの提言をいただいている部分もあるが、2～3頁にあるように、子育て支援計画の方向性、重点的に何をするかを示すものとなる。
29	子育て支援計画において、この指針に基づいて優先順位がつけられるとしたら、それはどのような形で検証ができるのか。ビジョンだけでは検証できないのではないのか。	単年度ごともしくは次期の計画策定の際に区民の皆さんに示し、検討していく。また議会にも報告する。そういった場面で、ビジョンがどのような形で生かされているかが検証できると考えている。
30	最終のアウトプットのイメージがまだないようだが、最終のまとめの後も、今回のような会やパブリックコメントをとるのか。いろいろな経緯を経て、最終的にどのようにまとめたのかを示していただけるとよいと思う。	今後の方向性については、会長、副会長と詰めて進めて参りたい。